

令和2年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

国語	P 1
書写	P 6
社会	P 12
地図	P 16
算数	P 19
理科	P 26
生活	P 32
音楽	P 40
図画工作	P 43
家庭	P 46
保健	P 49
英語	P 56
道徳	P 64

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

国 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

						種目	国語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍株式会社	
国語101 102 あたらしいこくご 一上・一下	国語201 202 新しい国語 二上・二下	国語301 302 新しい国語 三上・三下	国語401 402 新しい国語 四上・四下	国語501 新しい国語 五	国語601 新しい国語 六		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し、重点的な学習によって着実に身に付くよう工夫されている。また、重点事項に即した具体的な言語活動が行えるよう配慮されている。 ・読書単元と図書館の活用について学ぶ教材が各学年に示され、読書に親しむよう工夫されている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関心や発達の段階に合わせて適切なものを取り上げている。児童の興味・関心を引くような、多くの写真やイラストが配置され、理解の一助ともなっている。 ・発展的な学習については、単元において身に付いた資質・能力の活用を促す工夫がされている。生活や学習の中で活用できる語彙などの拡充や、習得を確かにするための練習教材が設定されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の単元を課題解決的なステップで組織するとともに、「国語の学習の進め方」により生きた資質・能力が育成されるように工夫されている。 ・「言葉の力」が系統的・段階的に育成されるよう、単元が配列されている。また、生活、他教科で生かせる事項が、「話す・聞く」「書く」「読む」の内容ごとに整理されて取り上げられている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の多様性に配慮し、すべての児童に見分けやすい配色となるよう工夫されている。また、見やすく、文字の指導に適した教科書体を使用している。 ・主語・述語・修飾語、敬語、ローマ字などの練習教材が設けられ、基礎基本が身に付くよう工夫されている。 					

						種 目	国 語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書 株式会社	
国語103、104 みんなとまなぶ しょうがっこうこくご ーねん上・ーねん下	国語203、204 みんなと学ぶ 小学校こくご 二年上・二年下	国語303、304 みんなと学ぶ 小学校国語 三年上・三年下	国語403、404 みんなと学ぶ 小学校国語 四年上・四年下	国語503、504 みんなと学ぶ 小学校国語 五年上・五年下	国語603、604 みんなと学ぶ 小学校国語 六年上・六年下		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く・話し合う」活動を系統的に位置づけ、年間2～3か所の単元を中心に小教材を適宜設定し、全体的に話したり、聞いたり、話し合ったりする力を養えるように配慮している。 ・他教科での学習内容にも配慮し、さまざまな種類の文章に触れ、その形式を学ぶとともに、目的や意図、相手に応じた文章を書く場を、バランス良く設定している。 ・目的意識を持って読むことができるように言語活動の目的とめあてを明確に示し、主体的な学びを生み出せるようにしている。 ・3年生以上で2つの思考力教材を設定し、情報の整理の仕方について演習を通して体感的に理解し、他領域や他教科で活かせる力となるように工夫されている。 ・各学年1か所、伝統的な言語作品の美しい響きやリズムを声に出して味わう教材を設定し、受け継がれてきた言語文化に親しむことができるように配慮してある。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」「書くこと」関連教材は、1～5年生で1～2教材設定し、「読むこと」が「書くこと」に生かせるように配慮されている。6年生では複合単元を設定し、「書くこと」と他領域の関連が図れている。 ・巻末資料「国語のカギ」で、当該学年の学習内容が確認できるようになっている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・6年間を通して、段階的・らせん的に学びを積み上げ、「確かな言葉の力」を身に付けることができるよう、系統的に単元・教材を配列してある。 ・「話す・聞く・話し合う」活動を系統的に位置づけ、年間2～3か所の単元を中心に小教材を適宜設定し、全体的に話したり、聞いたり、話し合ったりする力を養えるように配慮している ・国語を中心として教科横断的な視点を意識して、他教科での学習に生かせるような言語活動を設定してある。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容をまとめたり、考えを整理・形成したりする際に活用できるよう、適宜、表やイメージマップなどを配置している。 ・1年生では「入門機入門編」「入門機基礎編」を位置づけ、各教材を組み合わせる柔軟な指導をしながら国語学習の基礎となる土台が築けるようになっている。 ・新出漢字は、本文中に単語単位でルビが振ってあり、読みの負担を軽減している。 					

						種 目	国語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社	
国語105 106 ひろがることば しょうがくこくご 一上・一下	国語205 206 ひろがることば 小学国語 二上・二下	国語305 306 ひろがる言葉 小学国語三年上・三下	国語405 106 ひろがる言葉 小学国語四上・四下	国語505 506 ひろがる言葉 小学国語五上・五下	国語605 606 ひろがる言葉 小学国語六上・六下		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・「てびき」が学習指導要領で示された学習過程に対応しており、自ら考え表現することができるよう工夫されている。 ・多様な言語活動が設定されており、日常の様々な場面で生きて働く言葉の力が養われるよう工夫されている。 ・図書紹介を中心とした読書交流教材が全学年に設けられており、読書に親しむ工夫がされている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた教材が配列されている。 ・各学年とも「言葉を学ぼう」、「言葉を増やそう」などにおいて、語彙の拡充を意識した補足的な学習場面の設定が工夫されている。 ・二次元コード「まなびリンク」によって教科書外の新しい情報を得られるようにしており、発展的な学習ができるようになっている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して指導ができるよう、系統的な単元構成になっている。 ・一つの領域を重点的に学習する単元を基本とするが、主として「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、領域を関連させて効果的に指導する「関連単元」を設定している。 ・他教科との関連が図られた教材が選定されており、学んだことが活用できるよう工夫されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、誰にとっても見やすく読みやすくなっている。 ・説明文教材の前に、短めの文章で構成が類似した「トレーニング説明文」を置き、この文章を読み解くことで、説明文を読むためのスキルを習得できるよう工夫されている。 ・学年の初めにリラックスした雰囲気の中で話したり聞いたりする「アイスブレイク」の教材が配置されており、友達とのコミュニケーションをとる楽しさが感じられるよう工夫されている。 					

						種 目	国 語		
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	光村図書出版 株式会社			
国語107・108 こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち	国語207・208 こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ	国語307・308 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら	国語407・408 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき	国語507 国語五 銀河	国語607 国語六 創造				
観 点		調 査 の 結 果							
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・理解力と表現力の育成として、第三学年以上で「読むこと」と「書くこと」の複合単元が設けられており、読むことを生かして、調べたことや自分の考えを文章で表現できるよう工夫されている。 ・伝え合う力の育成として、各学年において「聞く」「話す」「話し合う」内容がバランスよく配置されている。また、対話のスキルが学べる「対話の練習」が設けられている。 ・思考力や想像力の育成として、筋道を立てて考える力や豊かに想像する力が養える読み物教材が設置されている。 ・言葉の理解と言語感覚の育成として、各学年に「言葉」に焦点を当てた教材が位置づけられ、言葉の豊かさを感じ、実際に使えるようになるための配慮がある。 ・対話を通して自分の考えを広げたり深めたりする活動が設定できる物語教材が取り上げられている。 ・各学年において「本は友達」で、読書を日常に広げられるようにしている。 ・各学年において、伝統的な文学作品や伝統行事、風物などに触れる内容が設けられている。 ・各単元において、全体を見通す、振り返るなどの場面を設定し、主体的な学びを促している。また、随所にグループでの対話や助言し合う場面が位置づけられており、理解や表現を深められるようにしている。 							
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・多様なものの見方・考え方に触れ、自分の考えを広げたり深めたりできるような教材が取り上げられている。また、発達段階に応じた文章構成や論理展開になっている。 ・身近な課題設定で、段階的に対話のスキルが高められるように構成されている。吹き出しやイラスト、QRコードによる動画資料で、視覚的に理解できるよう配慮されている。 ・「読むこと」に関する教材が設置されている。 ・既習事項を思い出し、それを生かして学習が進められるように工夫されている。巻末資料は、学級に応じて補充的にも発展的にも扱えるものとなっている。 							
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・各単元・教材のねらいを明確にし、身に付けたい力が着実に身に付くように、学年内や学をわたって、系統的・段階的に位置付けることで、習得と活用が繰り返されるように工夫されている。 ・「読むこと」「書くこと」など、領域を関連させて構成し、効果的に学習できるように配列されている。 ・各学年で「たいせつ」「いかそう」の印があり、生活や他教科で役立つ内容が取り上げられている。また、付録「たいせつ」のまとめでは、「話す・聞く」「書く」「読む」の内容ごとに整理されている。 ・第2学年以上では、「情報」の内容を設け、学習内容と関連付けられている。論理的に思考する力の育成が目指されている。 							
4 本書の特長について		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚特性に対応する配色・色調になっている。また、図版は、色による識別に頼らず、形による識別ができるようになっている。 ・イラストや解説などの境界がはっきり区別できるように配慮されている。 ・第1学年では、音読・対話・語彙といった国語の基礎固めをする教材を、継続的に学べようように配慮されている。 ・地域に対する関心や理解を深められるような単元づくりに配慮されている。 							

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

書 写

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種目	書写
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍株式会社	
書写101 あたらしい しょしゃー	書写201 新しい しょしゃ 二	書写301 新しい書写 三	書写401 新しい書写 四	書写501 新しい書写 五	書写601 新しい書写 六		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・書写の基礎基本を効率よく確実に習得できるよう工夫されている。文字の組み立て方・配列・点画の描き方などを「書写のかぎ」と名付け系統立てて配列されている。 ・図解やイラスト、写真、朱墨文字などが取り入れられて、理解の手助けとなっている。 ・左利きの場合の鉛筆の持ち方が示されている。一人一人に合った学習方法で理解が図れるよう工夫している。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関心や発達の段階に合わせて適切なものを取り上げている。児童の興味・関心を引くような、多くの写真やイラストが配置されておりわかりやすい。 ・キャラクターを用いて、単元の見通しをもたせている。第1・2学年では、教科書に直接書き込みができるようになっており、発達の段階に応じた配慮がなされている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・書写の基礎・基本的な事項が確実に習得できるよう、発達の段階に応じて、重点化しながら系統的に単元を配列し、学習できるよう配慮されている。 ・学習で身に付けた知識・技能を生活や他教科等と関連させて活用することができるよう配慮されている。 ・第3学年以上は巻末に「文字のいずみ」と名付け、文字に関する情報が掲載され、応用や発展的な内容にも触れられている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童が使いやすいよう、特別支援、色覚多様性、左利き等への配慮がなされている。特に、教科書体以外は、振り仮名など小さい文字でも読みやすいフォントが使用されている。 ・教科書に連動したデジタルコンテンツを活用することで、映像を見せながら個別指導を行うなど、指導の効率化が図れるよう工夫されている。 					

						種 目	書 写
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名	
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	学校図書 株式会社	
書写, 102 みんなとまなぶ しょうがっこう しよしゃ 一ね ん	書写 202 みんなと学ぶ 小学校しよしゃ 二年	書写 302 みんなと学ぶ 小学校書写 三年	書写 402 みんなと学ぶ 小学校書写 四年	書写 502 みんなと学ぶ 小学校書写 五年	書写 602 みんなと学ぶ 小学校書写 六年		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写の基礎・基本や技能、主体的な態度が身につけられるように編集されている。 ・ 写真や挿絵を多用し、楽しく学習ができるよう、視覚的に理解できるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習の進め方」を示すことで、多様な考えや意見を相手に伝えるだけでなく、自らの習字技能にも還元し、表現できるように配慮されている。 ・ 習字のポイント解説「書き方のカギ」を設置し、児童の書写学習が円滑に進むように工夫されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」振り返ろう」の四部構成となっていて、思考力や表現力を生かして取り組めるように工夫されている。 ・ 習得する技能のポイントを示し、効率的に練習できるようになっている。 ・ 教材とは別の文字を練習することで、習得した技能を理解し、活用できるかを確認られるようになっている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写の資料館のコーナーを置き、文字にかかわる様々な資料を全学年に掲載されている。 ・ 書き込み欄を充実させ、日常生活や学校生活で生きる学習が進められるようになっている。 ・ 学習の補助資料をQRコードで掲載されており、インターネット上のコンテンツが利用できるようになっている。 					

						種 目	書 写
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社	
書写103 しょうがく しょしゃ 一ねん	書写203 小学 しょしゃ 二年	書写303 小学 書写 三年	書写403 小学 書写 四年	書写503 小学 書写 五年	書写603 小学 書写 六年		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年目次ページで全学年の振り返りと当該学年の学習内容が理解できるようにしている。また、巻末の「学習のまとめ」で1年間で学習した内容の振り返りができるようになっている。 ・各学年とも「学習の進め方」が示されており、児童が見通しをもって学習できるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・年間30～35単位時間で硬筆、毛筆の学習が効果的に行えるようにしている。 ・硬筆、毛筆教材ともそれぞれの学年における児童の発達段階に合った文字や語句を選んで教材化している。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・書くときの姿勢や筆使い、字形の整え方など、基礎基本が確実に身に付くよう写真や図を活用して子ども自身が見てわかり、実践できるようにしている。 ・「レッツトライ」「書いて伝え合おう」のページでは、習得した書写の力を教科横断的学習や日常生活に活用できるよう、関連が図られている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に水書用紙を添付することで、穂先がやわらかい用具で練習できるようにしている。 ・自分の課題に合った学び方を選んだり、「書写の言葉」を示して対話を促したりする工夫がある。 					

						種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	光村図書出版 株式会社	
書写104 しよしゃ 一ねん	書写204 しよしゃ 二年	書写304 書写 三年	書写404 書写 四年	書写504 書写 五年	書写604 書写 六年		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・第1・2学年では、声を出しながら正しい姿勢が確認できるようになっている。 ・第3・4学年では、毛筆での書き方を理解しやすくするため、写真にイラストを加え、筆づかいや文字のバランスなどについて視覚的に分かりやすく示したりしている。 ・第5・6学年では、様々な書く場面や紙面を取り上げ、目的に応じた書き方ができるように工夫されている。 ・これまでの学習内容を確認する内容がはじめにある。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮した題材が取り上げられている。 ・第2学年以上では、「もっと知りたい」のコーナーが設けられ、文字・筆・紙・墨・硯などに関する情報を載せて、児童の興味関心をひくよう工夫されている。 ・第2学年以上で「たいせつ」というコーナーを設け、課題発見を促して、自主的に学習できるように配慮している。 ・第3学年以上に「学習の進め方」のページを設け、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 ・第1学年では、「自分の名前」からスタート、第6学年では、「行書」を設定するなど幼児、中との連携が意識されている。 ・毛筆の後には「硬筆のまとめ」が設けられている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項から応用場面へと、段階的に学習できるよう配慮された単元構成になっている。 ・第1・2学年では、文字を指でなぞったり、文字の形を視覚的に捉えやすくしたりする工夫をすることによって、基本を身に付けられるよう配慮されている。 ・第3・4学年では、毛筆で書くことのよさを知り、学習したことを生かす場面を意識して学べるよう工夫されている。 ・第5・6学年では、巻末に、はがきや手紙の書き方など、日常生活に生かすための資料がまとめられており、学んだことを生かす工夫がされている。 ・第6学年では「書写ブック」があり、身につけた力を国語科や各教科の学習場面や日常生活で生かせるよう工夫されている。 ・1教材1目標とし、学習で身につけさせたい力を教材名としている。 ・国語の教科書と連動している。 ・導入・理解・確認・活用・振り返りという学習の流れを単元の基本とし、基礎・基本の定着が図れるように示されている。 					
4 本書の 特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・朱墨を用いることで、穂先の向きや筆圧、点画のつながりなど筆づかいが把握できるように工夫がされている。 ・第1学年に鉛筆の持ち方を友達同士で確かめる「できているかな」、第3学年に自己評価・相互評価に活用できる「確かめようシール」を用意するなど、対話を通して学習を深められるようにしている。 ・文字への興味・関心が高まるよう、漢字の成り立ちを楽しいイラストで解説する「漢字図鑑」が全学年にある。 ・当該学年だけでなく、前学年で学習した漢字も巻末に掲載されている。また、第3学年以上では、配当漢字を硬筆と毛筆の書体で示し、硬筆と毛筆の学習の関連が図られている。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックを意識した内容がある。 ・QRコードを読み取ることで、基本の部分が動画で確認できる。 ・よい姿勢の維持を目的とした「しよしゃ体操」が取り入れられている。 ・水書シートによって、始筆から終筆までの動きを体感することができる。 					

						種目	書写
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本文教出版株式会社	
書写, 105 しょうがく しょしゃ 一ねん	書写205 小学しょしゃ 二年	国語305 小学書写 三年	国語405 小学書写 四年	国語505 小学書写 五年	国語605 小学書写 六年		
観点	調査の結果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技法について、写真や挿絵で分かりやすく示されている。 ・「考える」「確かめる」「生かす」という3段階の流れで学習し、目標が達成できるように工夫されている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「国語の広場」のコーナーを設け、目的や相手を明確にした書き方を学べるように配慮されている。 ・「生活と書写」のコーナーを設け、学習活動や日常生活において、資料として活用できるようになっている。 ・「言葉のまど」のコーナーを設け、語彙力の向上が図れるように工夫されている。 ・高学年には「学習の進め方」が設けられ、見通しを持って学習を進めることができるようになっている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆教材では、毛筆で習得した書写力を硬筆に生かせるように提示されている。 ・最終単元は、既習内容をもとに自ら課題を発見して解決したり、選択して取り組んだりできるように設定されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状や原稿用紙、手紙や封筒を取り上げ、日常生活の中から書き方の知識が身に付くよう配慮されている。 ・全学年で書き初めの教材を取り上げ、伝統文化への興味・関心を高めるような配慮がされている。 ・毛筆教材では、始筆・送筆・終筆を視覚的に示したり、擬態語を用いて点画の筆圧を感覚的にとらえさせたりするよう配慮されている。 ・適切な字形や文字の大きさ、配列などを考えさせるような事例が取り上げられている。 						

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

社 会

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

種目						社会
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍株式会社
		社会301 新しい社会3	社会401 新しい社会4	社会501・502 新しい社会5上・下	社会601・602 新しい社会6政治・国際編・歴史編	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、学習指導要領に則り、内容をもれなく取り扱っている。単元の構成・配列も適切である。 児童が社会科に興味をもって学習できるように工夫されており、「社会的な見方・考え方」を働かせながら問題解決的な学習を進めていけるような内容になっている。 学習に「見通し」をもって臨めるよう、予想や学習計画を立てる場所を随所に示しており、主体的に学ぶことができるような配慮がなされている。 各学年において、実際に取材したさまざまな仕事や社会的活動に関わる人の姿を取り上げ、社会的な事象に参画・提案する学習場面が示されている。 				
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階が明確に示されている。 児童が課題意識をもって主体的に学習に取り組めるよう、本時のめあてに学習段階が併記されている。 「まとめる」の場面では、書き込む欄を設けることで調べたことを整理しやすくしている。また、図表やプレゼンテーションソフトなどの多様な表現方法を提示することで、思考力・判断力・表現力を育てられるよう工夫されている。 「まなび方コーナー」を設定し、データや資料写真などから必要な情報を獲得したり、学習内容をまとめたりするために大切なポイントを提示している。 児童が親しみやすいアニメキャラクターに学習をナビゲートさせることにより、興味・関心をもって学習に取り組めるように工夫されている。 				
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に学習を進めることができるような構成となっており、内容の配列も適当である。また、図表や写真と本文のバランスがよく、紙面が見やすくまとまっている。 国土の学習では、それぞれの地域の特徴をイメージしやすいよう、豊富な写真資料を掲載している。環境や自然災害に関する学習においても、より身近で具体的な例を取り上げることにより、児童の関心を高める工夫がなされている。 各学年の学習を通して、日本の都道府県の構成が理解できるように、事例地域が特定地方に偏らないように配慮されている。 巻末にさまざまな学習方法を提示し、多様な考え方で学習内容を振り返ったり、主体的に学習を進めていけるような提案をしたりしている。また、地図帳・地球儀に関する特設のページも設定している。 				
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> 単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」と、学習段階が構造的に明確に示されていることにより、問題解決的な学習の展開を分かりやすくしている。 「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点と「方法」に分けて社会的な見方・考え方を示し、深い学びにつなげられるように配慮されている。 実社会に生きる人々の姿を多く掲載することで、よりよい社会づくりのために参画・貢献しようとする意欲や態度を育てる内容となっている。 重要な語句については「ことば」の欄を設け、各学年の学習段階に応じた丁寧な説明を添えている。「まとめる」の場面で「ことば」をまとめに生かすように促し、学習内容の定着や表現力の育成につながるよう工夫されている。 栃木県の事例として、3・4年下では、宇都宮市のごみの処理と利用、6年では足利学校、日光東照宮（写真）、田中正造と足尾銅山を取り上げている。 				

種 目						社 会
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社
		社会303 小学社会 3	社会403 小学社会 4	社会503 小学社会 5	社会603 小学社会 6	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容に沿った単元配列になっており、全体としての構成・内容・単元の区分も適切である。 ・「学びのびき」や「キーワード」を設け、資料を関連づけて考えたり、読み取ったりする学習がしやすいように配慮されている。また、黄色で色づけされていて、視覚からも重要性を見いだすことができる工夫がされている。 ・キャラクターを活用することにより、児童の興味・関心を高めさせる工夫がされている。また、キャラクターの吹き出し部分に、児童の発想や思考の流れによって生じる「疑問」「つぶやき」「課題」を記述することで学習が深められるように配慮されている。 ・ほとんどのページの右下に「次につなげよう」という枠を設けて、次時の課題との関連を明らかにしている。 				
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・難解な用語については解説が載っている。 ・3年の巻頭では、2年生までの生活科の学習を踏まえながら、社会科の見方や考え方を項目立てて示している。隣接しているところから、違いがくらべやすくなっている。 ・4学年以降の巻頭では、前の学年をふり返り、社会科の見方や考え方を同様に示している。また、5・6年では、同ページにノートのとまとめ方の例を示していて、学びの参考になっている。 ・5年「国土の自然とともに生きる」では、写真を使って豊かな自然について示しているが、見開きページで災害についても日本地図を使って示していて、一目で場所と起こった災害についてわかるようになっている。 				
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」といった3つの段階を踏まえた活動の配置がされている。 ・5年では、米づくりの一年を学習する際に「米づくりカレンダー」を見開き2ページで確認することができる。さらに、作業工程の時期や期間をカレンダーと重ね合わせることで、見やすい工夫がされている。 ・6年では、政治を学習した後に歴史についての学習となる。「歴史の学び方をナビゲーション!」を設け、年表の活用の仕方を説明しているので、年表が巻末ではなく途中にあり、見開いて確認することができる。 				
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」が設けてあり、学習に役立つ情報を、ウェブサイトで見ることができる。 ・5年では、キャラクターの吹き出しの重要部分を穴埋め式にするなどしている。同様に、6年では、「まとめる」で年表を使いながら、穴埋め式を活用している。キーワードとなる単語を自分で見いだせる工夫がある。 ・3・4年では、最後のページにキーワードの一覧と該当ページ番号を表示し、学習の確かめがしやすい配慮がしてある。 ・5・6年では、教科書で取り上げられている重要な言葉、事柄については最後のページの索引にまとめてあり、見つけやすいように工夫してある。 				

						種目	社会
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本文教出版株式会社	
		社会304 小学社会3年	社会404 小学社会4年	社会504 小学社会5年	社会604 小学社会6年		
観点		調査の結果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱いをふまえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成となっている。 児童の話合い活動から学習問題をつくり、問題解決的な学習を通して、理解を深められる内容となっている。 社会的な見方・考え方の視点を示す「見方・考え方コーナー」が設けられ、空間、時間、関係の3つの視点に着目して学習を進めることで、対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 第4学年では、教材選択の幅を広げることにより、地域の特性に合わせた学習が進めやすいように配慮されている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 調べ方として、メール、電話、インターネット、本や資料など様々な手法での例が示されており、児童が興味をもち調べ活動を進めていけるよう配慮されている。 写真や図表、挿絵などを大きく見やすく掲載することで、児童が興味、関心をもち学習を進めることができるよう工夫されている。 「やってみようのコーナー」では、地図帳で調べたり、作業したりできるように設定されており、知識や学習技能を定着することができるよう配慮されている。 「学び方・調べ方コーナー」では、各種資料の読み取り方、学習問題を解決するための調べ方、調べたことや学んだことの表現の仕方などが分かりやすくまとめている。 「わたしたちの学びを生かそうコーナー」では、単元の学習を終えた児童が、自主的にさらに調べたいと思う内容を扱い、発展的な学習に対応できるよう工夫されている。 栃木県の事例として、4年「地いきの発てんにつくした人々」では那須野原の開拓、6年では足尾銅山鉱毒事件が取り上げられている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> 児童の思考の流れを考慮した組織・配列をしている。 児童が自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追求し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程を分かりやすいように配列されている。 選択、判断が求められている単元では、「さらに考えたい問題」が示され、児童の思考を深める構成に配慮されている。 学習対象についての情報や資料、追求過程などが原則見開き2ページにまとめられており、コンパクトな配分となっている。 特別の教科道徳と関連付けた事例や事象が取り上げられているなど、他教科、他領域との関連が図れるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> 各学年の最初に、見開きページで、「この教科書の使い方」を掲載し、教科書の構成をつかめるようにしている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されており、読みやすくなるよう工夫されている。 学習に役立つ情報を「デジタル」から選び、デジタルコンテンツにアクセスして活用することができるよう配慮されている。 社会科の学習を進めていく上で大切な言葉や、児童にとって難しい言葉には、各学年の発達段階に応じた丁寧な説明がされている。 各種資料が大きくカラーで示されている。また資料の番号が学習の流れや、本文中に含まれており、本文と資料が適切に関連付けられている。 オリンピック、主権者教育、持続可能社会などの今日的な課題について取り上げられており、よりよい社会づくりのために参画・貢献しようとする意欲や態度を育てる内容となっている。 					

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

地 図

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種目	地図
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍株式会社	
地図301 新しい地図帳							
観 点		調 査		の 結 果			
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島の位置及び地形・領土が詳しく正確に記されている。 ・日本の基本図では、主要都市を大きく拡大し、周辺の土地利用図やその土地の建造物、産業の様子がとらえられるようになっている。 ・地図中の絵記号やイラストが、親しみやすくわかりやすく表示されている。 ・主題図が大きく掲載され、表やグラフ、イラストから、内容を正しく読み取ることができるよう配慮されている。 ・本県の扱いについては、地図の中に農産物、伝統工芸品、工業製品がイラストで表現されている。また、「関東地方」のページを参照することにより、関東近県との位置関係やつながりが分かり、本県の特色がとらえやすいよう工夫されている。 ・巻末には、これまでの自然災害の内容がまとめられ、正確な理解が図れるようになっている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・地図中の写真やイラストの活用など、各都道府県の特徴的な特産物や事象に興味関心が持てるよう工夫されている。 ・「くらべてみよう日本と世界」では、統計資料だけでなく山・湖・島の形を示し、その特徴を捉えやすい工夫がされている。 ・人物やキャラクターの吹き出しにより、児童の発想や思考の流れによって生じる疑問を記述することで学習が深められるようになっている。 ・日本地図及び世界地図の随所に特産品や主な産業、建造物等がイラストで載っており、地図に親しみやすい配慮がされている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳の使い方」「日本の地方ごとの基本図」「拡大図」「世界全図と地球儀」「世界の地方図」「統計資料」「索引」「日本の自然災害」「世界の国々の国旗」順に配列されており、児童が使いやすいよう配慮されている。 ・地図の縮尺は、それぞれのページや用途に合った大きさを考慮し、適切に変えている。 ・日本の地方ごとの基本図には、図や写真を掲載することを控え、地図が主役となる構成となっている。 ・日本・世界地図ともに一般図はすべて見開き、またはページ単位で構成され見やすく配列されている。日本の一般図は、同一図法で描かれており、各図の範囲と位置が分かりやすく配列されている。また縮尺も、ページや種類ごとに適切に工夫されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「地図帳の使い方」では、数ページに渡って、基本的な地図帳の使い方について具体例を示し、初めて地図を使用する児童にも丁寧に解説されている。 ・地図中の文字や記号が大きく表示されており、地名の漢字の読み仮名も読みやすくなっている。 ・ユニバーサルデザイン書体である丸ゴシック文字が採用されており、親しみやすいものになっている。 ・「世界全図と地球儀」では、地球儀の見方・使い方が、大きい写真を使って詳しく説明されており、分かりやすくなっている。 ・「日本の自然」「日本の歴史」「産業」「貿易」「各種統計」「自然災害」等が写真付きで掲載されており、社会科授業の他、総合的な学習の時間や、家族旅行等、さまざまな場面での活用が考慮されている。 					

						種目	地図
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 帝国書院	
地図 302 楽しく学ぶ小学生の地図帳 3・4・5・6年							
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 各地方ごとにページを分け、地域の特色ある産業や特産物が読み取れるようになっている。また、高低差ごとに色を分け、市街地・田・畑などの土地利用を組み合わせた地図表現をベースに、産業（農林水産業、工業製品・伝統工芸品）などの絵記号を豊富に掲載している。 世界の地図では、日本と近隣の国々との位置関係を正確に記し、北方領土等の日本の領域および周辺海域を正しくとらえられるよう、国別に色分けした地図を掲載し、近隣諸国も分かりやすく描いている。また、各国の建造物や主な産業等が絵で記されている。 「日本の歴史と世界文化遺産」のページでは、都道府県の昔の名称と境界を表したり、世界文化遺産をカラー写真で掲載したりしている。 本県の扱いについては、地図の中に農産物、伝統工芸品、工業製品がイラストで表現されている。また、「関東地方」の地図を活用することにより、周辺の都県との位置関係やつながりが分かり、本県の特色がとらえやすいように工夫されている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 地図の見方を記した「地図のやくそく」「地図帳の使い方」のページが設定されており、用語の解説などが詳しく掲載され、児童の発達段階、興味・関心に適応している。 イラストや写真による特色の紹介やキャラクターの吹き出しにより、地図の読み取りのポイントを示し、学習が進められるよう工夫がされている。 「日本の自然のようす」「日本の産業のようす」「日本と世界の結びつき」のページにより、地図・写真・グラフ等で、補充・発展的な学習に取り組めるよう配慮されている。 世界地図では、「集まれ世界の子どもたち」「地図マイスターへの道」により、調べ学習を促す工夫がされている。また、豊富な情報が随所に掲載されており、児童が主体的に学習できるよう配慮されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には「地図のやくそく」「地図帳の使い方」が掲載されており、構成・配列が適切である。 「日本編」は、「広く見わたす地図」「都道府県を見る地図」「くわしく見る地図」に分かれており、細かく掲載されている。特に、地方別地図は、100万分の1・50万分の1で表示され、見やすくなっている。 「世界編」は、「世界と地球儀」「大陸別地図」「世界の国々」に分けて掲載されており、世界各国の地形や位置関係を把握しやすくなっている。 巻末には、「日本の自然の様子」「日本の自然災害と防災」「日本の産業の様子」「日本と世界の結びつき」が掲載され、これらを参考に社会科の学習ができるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> 「日本の領土とそのまわり」「南西諸島の位置や本州との距離」等、日本の領土・領域を的確にとらえ、学習指導要領で求められている「国土理解」に応えている。 日本の地方別の地図は、土地利用表現や絵記号を採用し、豊富に掲載された主題図からも自分の住んでいる地域の人々のくらしや風土がわかるようになっている。 学びへの配慮として、色覚に特性をもつ児童をはじめ、すべての児童が学びやすいよう、色彩表現を工夫している。 地名表記も国語で学習する「とめ」や「はね」、「はらい」が正しい書体の漢字を使用している。 					

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

算 数

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	算 数
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍 株式会社	
算数 101・102 あたらしいさんすう ①・②	算数 201・202 新しい算数 2上・2下	算数 301・302 新しい算数 3上・3下	算数 401・402 新しい算数 4上・4下	算数 501・502 新しい算数 5上・5下	算数 601 新しい算数 6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・「今日の深い学び」を2年下巻から全巻に配置し、主体的・対話的で深い学びの具体を可視化している。また、算数科の特性を生かした言語活動例として提示してある。他者の考えを読み取って説明する活動を通して、筋道を立てて考え表現する力が身に付くよう工夫されている。 ・全学年にノートづくりの例「算数マイノートをつくろう」が設けてある。学年発達段階に配慮した記述内容の構成になっているので、自分の考えや友達の考え、学習の感想などを書く活動を通して、主体的に言語活動ができるように配慮されている。 ・巻末に基礎的・基本的な技能の定着のための「ほじゅうの問題」がある。難易度別の2段階の問題なので、個々の習熟度に応じて取り組むことができる。また、解答も掲載されているため、個々の学び直しや家庭学習でも使え、自学自習の学習習慣を身につけられるようになっている。 ・2年下巻から前学年までの既習内容の中で、本単元に必要な内容や、児童が苦手としている内容をまとめた「ふりかえりコーナー」が巻末にあり、自力で学びなおしができるような配慮がなされている。 ・既習内容を総合的に活用し、統計資料から読み取りや考察をする内容「算数で読みとこう」(5, 6年)では、複数のグラフから必要な情報を読み取って数学的に分析、考察し、児童の活用する力を高める問題を豊富に取り上げている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・児童のつまずきやすい箇所や理解の定着が難しい内容については、スモールステップで理解が深められるような工夫をしたり、理解を確認する問題を多く設定したりして、確実に習得できるような配慮がなされている。 ・「いかしてみよう」「つないでいこう算数の目」「算数で読みとこう」「かたちであそぼう」「考える力をのばそう」「おもしろ問題にチャレンジ」「算数卒業旅行」等のページでは児童自身が探究する活動を通して、算数の学習を深め、広げる場が設定されている。 ・「おぼえているかな」のページでは、授業でもしくは児童自身で既習内容の確認ができる。 ・巻頭の「新しい算数」を使った学習の進め方には具体的な学習方法が例示されており、授業での学習だけでなく、家庭学習の習慣が身につくような配慮がなされている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階や単元相互の関連、領域のバランスなどを配慮した構成、配列となっている。 ・「単元の導入」では、児童の身の周りにある物を算数の視点で捉え直すことにより学習意欲を高める内容となっている。また、既習内容を振り返ることにより、導入がスムーズになるよう配慮されている。 ・問題解決の場面において、思考の手順や観点など学習の手がかりを側注に示し、図や式、操作などを用いて説明する活動を十分に行えるような配慮がなされている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「たしかめよう(学習のしあげ)」では問題のめあてとフィードバックのページが明記されており、自己評価や、本文に戻って学習内容の確認ができるような配慮がなされている。 ・全国学力・学習状況調査や各自治体で行われた学力調査等の結果から、正答率の特に低い内容を中心に解説や練習問題を設定している。 ・文字を読みやすい書体へ改善、文章を読みやすい位置での改行や重要項目の枠組み、色数や色調の工夫・カラーバリアフリーの観点からの配慮、図の背面をすっきりさせるなど特別支援の観点からの配慮など、ユニバーサルデザイン化の工夫がなされている。 ・入学当初の学習への取り組みやすさを補うため、A4サイズ(見開きA3)の紙面で問題演習できる冊子(「あたらしいさんすう1①」)が付いている。 					

						種目	算数		
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	大日本図書 株式会社			
算数103 たのしい さんすう1ねん	算数203 たのしい 算数2年	算数303 たのしい 算数3年	算数403 たのしい 算数4年	算数503 たのしい 算数5年	算数603 たのしい 算数6年				
観 点								調 査 の 結 果	
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある題材を利用した数学的活動や、学習した知識や技能を生活場面で生かす数学的活動を取り入れ、数理的な処理のよさに気づくことができるよう工夫されている。 ・全学年に「読み取る力をのばそう」を設け、統計資料から情報を読み取ったり、根拠を説明したりすることで、思考力・判断力・表現力をさらに伸ばすことができるように工夫されている。 ・単元末の「たしかめ問題」では、学習内容の振り返りを図りながら、基礎的・基本的な内容の定着が図れるよう工夫されている。 ・巻頭に「算数まなびナビ」を配置し、学習の流れや話合いの観点を示している。「算数の学び方」や「ノートのかき方の例」、「話し方や聞き方のポイント」などを示し、授業の中で十分に言語活動が行われるよう配慮されている。 							
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の補充問題「プラス・ワン」は、各単元の適用問題に対応するよう、豊富な問題が載せられている。また、第5、6学年の学習内容がどのように中学校数学につながるのかを紹介するコーナーを設け、小学校と中学校の連携が図られている。 ・単元末の「たしかめ問題」には、理解度の高い児童が取り組む「チャレンジ」があり、解答が付いていて、自主的な学習ができるように配慮されている。 ・「読み取る力をのばそう」では、活用する力、読み取る力、表現力を育成するような問題を取り上げている。また、単元末の「たしかめ問題」にも、思考力を育成する問題を取り入れ、思考力・判断力・表現力をのばしていけるよう工夫されている。 							
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・目次には、関連する既習学年と単元名が記されている。既習事項を重視し、単元間や学年間の関連を図りながら、単元内の学習内容や技能の習熟ができるように配慮されている。 ・生活に密着した問題を単元の導入に取り入れたたり、「ふくろう先生になるほど算数教室」で算数のおもしろい問題やお話、算数を仕事に生かしている方々へのインタビューなどを取り上げたりと、児童の算数への興味・関心が一層高まるような工夫されている。 ・他教科との関連がある活動や題材・資料には、他教科リンクマークを付けることで、算数で学んだことを他教科の学習にも生かせるよう工夫されている。 							
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも学年1冊となっており、既習事項を繰り返し確認、復習することができるようになっている。 ・ページの右上にインデックスを付けることで、既習事項を振り返る際に見つけやすくなっている。さらに、インデックスは領域別に色を変えているだけでなく、模様でも区別できるようにになっている。 ・4年以上の巻末に「数直線図のかき方」を取り上げ、数直線をかいて考えたり、説明したりする力が身に着くよう配慮されている。 ・全学年に「プログラミングにちょうせん！」のページを掲載し、1～4年ではコンピューターを使わない数学的活動を通してプログラミング思考に触れ、5・6年ではプログラミングのソフトウェア「Scratch」を使って、プログラムを作れるよう工夫されている。 							

						種目	算数
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書 株式会社	
算数104・105 みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上・下	算数204・205 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上・下	算数304・305 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上・下	算数404・405 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上・下	算数504・505 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上・下	算数604・605 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年・6年中学校 へのかけ橋		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上の巻頭に、「3つの学びの力をそだてよう」を設定し、算数を通して身に付けさせたい思考力・判断力・表現力を意識して学ぶことができるように工夫されている。また、数学的な見方・考え方ができるようなアドバイスを9体のモンスターが示し、児童が楽しみながら学習できるよう工夫されている。 ・2年生以上の単元末に、「深めよう」を設け、算数の知識を、他教科や生活の中にかき活用できる力を身に付けることができるよう工夫されている。また、巻末に「今の自分を知ろう！」を設け、身についた算数の力を活用できるかを確認できるよう工夫されている。 ・計算単元においては、計算の手順を丁寧に解説し、段階を踏まえた練習を行うことで技能の習得が図られるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入をイラスト形式にし、日常生活など身近なことや算数の中から問題を発見することで、児童が興味・関心をもったり、新しい学習に対してより身近に感じたりすることができるように工夫されている。 ・6年別冊「中学校へのかけ橋」では、発展的な学習を取り上げ、小学校算数と中学校数学の関連が図られている。 ・問題解決をする際、発達段階に合わせて、低学年ではドット図や絵、中学年ではテープ図や数直線、高学年では数直線や4マス関係表を使って考えられるよう、系統的に図の学習ができるよう工夫されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・つまずきが多い内容である「倍の計算」については、単元と切り離して特設単元として重点的に学習することができるようになってきている。 ・各時間の定着を図る「確かめたいな」の問題、単元末の「できるようになったこと」、巻末の「ほじゅうの問題」では、既習内容の定着、基礎・基本の習熟を図るのに十分な分量が掲載されている。 ・目次では、関連のある既習単元のつながりを提示することで、学年間や学年をこえた系統的な配列が見えるよう工夫されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・横幅が21cmのAB版で、横に広く、開きやすいよう工夫されている。また、教科書上で作業する部分を広くするなど書き込みやすいように配慮されている。 ・各学年にプログラミングの学習ができるページを設け、QRコードからプログラミング的思考を身に付けさせるサイトを利用できるよう工夫されている。 ・「ふりかえろう、つなげよう」「かつどう!!」「アクティブ!!」などの特設ページを設け、単元で学んだ内容を統合的・発展的に見直し、学びを深められるよう工夫されている。 					

						種 目	算 数
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社	
算数106 しょうがく さんすう1	算数206・207 小学算数 2上・2下	算数306・307 小学算数 3上・3下	算数406・407 小学算数 4上・4下	算数506 小学算数5	算数606 小学算数6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を定着させるために、学年を超えた学び直しができるよう工夫されている。「学びのマップ」では、既習の内容を巻末にまとめ、わからない箇所があればいつでも参照できるようにになっている。また、「学びの手引き」では作図の仕方や算数用具の使い方が確認できるようにになっている。 ・「問い」の連続でつくる数学的活動を重視し、「はてな？」で問題をつかみ、「なるほど！」で振り返り、「だったら!？」で発展させて考えられるよう工夫されている。 ・単元導入では、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようになっている。 ・単元末に「学んだことを使おう」を設け、単元の学習を日常場面に活用し、「何ができるようになったか」を実感できるようにになっている。 ・言葉や式、図、表、グラフなどを用いて発表する活動を随所に例示し、それらを用いて問題を解決したり考えを広げたりできるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・単元末のまとめには、4コマ漫画で楽しく学習内容を振り返ったり、空欄に文字や言葉を入れながらまとめたりするなど、基本的な知識の定着に向けて工夫されている。 ・低学年では、積極的に操作活動を入れることで、楽しみながら身につけさせたい力が定着するよう工夫されている。 ・巻末に「ステップアップ算数」を設け、児童が既習事項を振り返りながら補充的な学習ができるよう工夫されている。また、「広がる算数」では、学習したことを広げて調べ学習ができるような工夫もされている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・習熟のために反復学習が必要な単元は、学年の早い時期に扱うよう配慮されている。また、低学年では早い時期に時計の学習をすることで、学校生活がスムーズに送れるよう配慮されている。 ・段階的、系統的にブロック図やテープ図、線分図、数直線等を用いることで、思考・表現の道具として活用できるよう工夫されている。 ・単元導入では、他教科で扱っている活動を題材として取り上げたり、「算数メモ」のコーナーで英語と関わる内容を取り上げたりし、教科横断的に取り組めるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力の基盤となる活動として、ノートに書く活動を重視している。1年生からノート指導のページがあり、段階的にノートの書き方の指導ができるようになっている。 ・個に応じた指導では、プラスαの話題として、「よくあるまちがい」や「言葉の広場」などを掲載し、意味が捉えられるよう配慮されている。また、「考えるヒント」を設けることで、つまずきへの丁寧な支援ができるよう配慮されている。 ・環境、情報、福祉、オリンピックなど、社会の変化に対応したテーマを取り上げ現代的な課題にも積極的に触れるよう配慮されている。 ・独自開発のプログラミングツールを使い、ねらいに即した授業ができるよう工夫されている。 ・教科書用紙として、現行版の紙を改良した軽い紙を採用し、児童負担に配慮している。 					

						種 目	算 数
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 新興出版社 啓林館	
算数108 わくわく さんすう1	算数208・209 わくわく算数 2上・2下	算数308・309 わくわく算数 3上・3下	算数408・409 わくわく算数 4上・4下	算数508 わくわく 算数5	算数608 わくわく 算数6		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るために、学年の発達段階に応じたスパイラルな教育活動が編成されている。 ・単元末の「自分の力で」「学びをいかそう」では、学習したことを身近な題材に関連付けることで、主体的に新たな学びに向かう姿勢を育める内容になっている。 ・巻末の算数資料集に説明の手順が明示しており、「算数でよく使う考え方」では「にている」「もどる」「きまり」をキーワードにして児童が身に付けておきたい考え方を紹介し、筋道立てた考え方につながるような配慮がなされている。 ・第2学年以上の学年に「図を使って考えよう」「表を使って考えよう」を設け、問題解決の道筋を分かりやすく示しており、数学的な見方・考え方を働かせて取り組めるよう工夫されている。 ・統計的な問題解決力の育成を目指し、PPDACのプロセスに沿って学習に取り組める内容を全学年で扱っている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真で、計算の手順をわかりやすく示したり、具体物と対応させたりすることで、スムーズに作業できるよう工夫されている。 ・補充問題「もっと練習」では、2段階の問題を設定し、習熟度に合わせて練習できるようになっている。 ・キャリア教育の視点から、「ひろがる算数」（6年）では、社会への活用を実感できるような社会で活躍する人々のインタビューが掲載されており、他教科と関連付けて学習できるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・領域のバランス、児童の負担の軽減や習熟期間を考慮した単元の指導時期の設定や配列がなされている。 ・新しい学習内容に入る前に「じゅんび」があり、その単元の学習に関する既習内容を復習することで、新しい学習へのスムーズな導入ができるよう工夫されている。 ・1時間の内容が1ページまたは2ページで構成され、学習内容が見渡せるよう配慮されている。また、めあてがすべての時間に例示されており、まとめめあてにしっかり対応している。 ・目次に前学年とのつながりが明示され、系統性をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・1、5、6学年が合冊となり、1年間を見通したり振り返ったりできるようになっている。 ・2年生以上の「学習の進め方」では、どのように算数に取り組んでいくかが示され、主体的な学習態度が身に付けられるようになっている。 ・文章を読む困難さを軽減させるよう、当該学年以上で学習する漢字には、ルビが振られている。 ・すべての単元にQRコードが掲載されており、タブレット等で読み取ると学習の参考になるコンテンツが閲覧でき、授業や家庭学習で活用できるようになっている。 ・全学年で、プログラミング的思考が育める活動にPマークが記載され、QRコードからデジタルコンテンツにアクセスできるよう工夫されている。 						

						種 目	算 数
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本文教出版株式会社	
算数110・111 しょうがく さんすう 1ねん上・下	算数210・211 小学算数 2年上・2年下	算数310・311 小学算数 3年上・3年下	算数410・411 小学算数 4年上・4年下	算数510・511 小学算数 5年上・5年下	算数610 小学算数 6年		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元前後に既習事項をたしかめるページを設け、繰り返し確認したり、リンクされた補充問題を解いたりすることで基礎基本の習得が図れるよう工夫されている。 ・ 単元導入では、児童の興味・好奇心に働きかける題材により、主体的な学習を促すよう工夫されている。 ・ 児童の身近な生活場面から多くの問題を取り上げ、数理的な処理のよさが感じられるように工夫されている。また、「ハロー!算数」「Hello!Math」では、写真やイラストを用いて視覚的に示すことで、児童が問題をより身近なものとして捉え、学習したことを生活の場面に生かし、算数の楽しさや意義を実感できるよう工夫されている。 ・ 絵や写真を、徐々に具体物・半具体物から抽象化された図へ、発達段階と系統を考慮して提示し、立式や計算の仕方などを考え理解する手立てとなるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストや写真をバランスよく使うことで、児童が興味をもちやすいよう工夫されている。 ・ 基礎・基本を身につける繰り返し学習に重点をおき、「直後の練習」や単元末の「たしかめポイント」の問題は、本文の問題と同程度の内容で構成されている。 ・ 巻末の「算数マイトライ」には、補充問題として「しっかりチェック」、応用的・発展的な問題として「ぐっとチャレンジ」、「もっとジャンプ」が掲載され、習熟度に応じた学習ができるよう工夫されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年では、同じ内容が長い期間続かないよう単元を分散的に構成している。また、高学年では、学習効果や効率を考慮し、関連する内容をまとめた配列になっている。 ・ 反復練習を要する内容は早期に配列し、その学年内で定着できるよう配慮されている。 ・ 第4学年以上の巻末の「活用」のコーナーにおいて、他教科の学習に関わる内容を取り上げることで、他教科との関連を図り総合的に学習することができるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上巻末に算数の学び方の手順がわかる「学び方ガイド」が掲載されている。その裏面には、自分の考えを表現したり、わかりやすく説明したりするための指針となる「算数で使いたいことば・考え方」が設けられている。 ・ 上巻頭に「算数ノートをつくろう」を設け、結果だけでなく、考えた過程を言葉、数式、図などを使って説明できるようにノートの書き方の事例を掲載している。 ・ 高学年では、WEBマークを付け、プログラミングを体験し、論理的思考力が身に付くよう配慮されている。 					

令和2年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

理 科

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

教科用図書の記号・番号・名称						種目	理科
1年	2年	3年	4年	5年	6年	発行者名	
		理科301 新しい理科 3	理科401 新しい理科 4	理科501 新しい理科 5	理科601 新しい理科 6	東京書籍 株式会社	
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・「考察しよう」で言語活動の方法を明確にし、話し合いや学び合うための理科の学習活動の習熟を図っている。 ・「理科のひろば」で自然や環境を大切にしようという内容を取り上げ、児童の自然や環境に対する興味・関心を高められるよう、配慮されている。 ・問題解決の活動から得られた概念を深められるよう、他の事象についても「学びを生かして深めよう」の中で考えさせたり、実証性・客観性について考えさせられる実験内容を提示したりするなどの配慮がなされている。 ・単元の導入部に「レッツ スタート！」を設け、児童に身近な自然の事物・現象を提示し、児童自らその中から問題を見つけ、主体的に問題解決ができるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・大きく分かりやすい多くの図や写真を効果的に用い、観察・実験の様子が学年に応じて理解しやすいように工夫されている。 ・単元の導入では、学習内容に関連したことや日常生活によく見られる状況を、興味を引く漫画で表現したり写真を掲載したりしている。 ・発展的な内容は「理科のひろば」の中で「はってん」マークを付けて大きく取り上げている。児童の理解度や興味・関心に応じて、自ら積極的に学習を深められるよう配慮されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・全学年同じ流れで学習が進められるよう、「理科の学び方」がフローチャート表示され、学習の流れが分かりやすく工夫されている。 ・巻末資料に「算数で学んだことを活用しよう」を設け、算数科で学習した内容を活用して観察・実験の結果を整理したり、読み取ったりできるよう配慮されている。 ・カラー写真などの学習素材を全国から集め、その中から地域の身近な資料として活用したり、他の地域と比較したりできるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会に関連する身近な事象を取り上げ、地球環境や環境保全に努める態度の育成が図れるように配慮されている。 ・「こん虫の切り絵をつくろう（3年）」、「星座カード（4年）」、「実物大 子宮の中での子どもの育ち方（5年）」、「とび出る 人体模型（6年）」など、楽しく学習できるように工夫されている。 ・ユニバーサルデザインフォントや文節で区切られた文章など見やすく読み間違えしにくい配慮がされている。 ・学習の基礎となるノートのかき方、話し合いの仕方、器具の使い方などが巻末資料の「理科の調べ方を身につけよう」にまとめられており、多様な場面で活用できるよう配慮されている。 ・裏表紙に目次が書かれており、どこに何が記載されているのかをすぐに調べられるよう、配慮されている。 					

						種目	理科
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	大日本図書株式会社	
		理科302 たのしい理科3年	理科402 たのしい理科4年	理科502 たのしい理科5年	理科602 たのしい理科6年		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭の目次のページで各学年の問題解決の能力の大切なところが明示されていて、問題解決の流れも適切である。 ・ 児童が自分の考えを伝え、友達の考えを聞き取るなどの話合いの場面を多く取り上げるなど言語活動が十分に行われるように配慮されている。 ・ 新学習指導要領の内容がしっかりと押さえられている。6年生の「私たちの生活と電気」の単元では、人感センサーを用いたプログラミング教育が設定されている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察や実験の説明では、低い学年では必要事項を図や絵で多く示し、学年が上がるに従って文字による説明が増えるなど発達の段階に配慮されている。 ・ 発展的な内容は、科学について視野が広がるような読み物や実験が単元末に大きく取り上げられている。また、中学校理科とのつながりも意識できるよう工夫されている。 ・ 実験方法を丁寧に例示することで、児童が見通しをもって実験していけるよう配慮されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の導入では、見開きで構成されており、キャラクターが「理科の見方」につながる視点を示し、主体的に問題解決に取り組んでいくよう配慮されている。 ・ 巻末に「〇学年のまとめ」のページを設け、学習内容を確認できるとともに、「チャレンジ問題」も用意して学習を生かす視点が盛り込まれている。 ・ 算数科等の観察指導事項との関連を図り、「算数で学ぶこと」と表記し、表やグラフ、単位について記載し、観察・実験の結果を整理できるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に実験器具の使い方がまとめて記載されていて、指導がしやすいように配慮されている。 ・ 付録のシール・植物・動物シート（3年）、星座シート（4年）、災害に備えようブック（5年）クイズすごろく（6年）などを配置し、児童が積極的に学習を進められるよう配慮されている。 					

						種 目	理科
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書 株式会社	
		理科303 みんなと学ぶ 小学校理科3年	理科403 みんなと学ぶ 小学校理科4年	理科503 みんなと学ぶ 小学校理科5年	理科603 みんなと学ぶ 小学校理科6年		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「考えよう・調べよう」のページを設け、話し合い方、調べ方、記録の取り方、発表方法などが記載され、発達の段階に即し、計画的に進められるように配慮されている。 ・学年の巻頭において、各単元の実験や観察の際に注意すべき点や方法などを示して、実際の観察・実験が理科学的な見方・考え方に基づいて進められるよう配慮されている。 ・これまでの学びを基に予想や考察を行ったり、学習と身の回りの出来事をつなげて考えたりすることで、新たな問いを生み出すなどの深い学びを行うことができるよう配慮されている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・新しく学習する観察の方法や生き物の育て方、実験器具の使い方などを写真や図を使い、詳しく説明し、正確に行えるよう工夫されている。 ・単元末に「まとめてみよう」を設け、学習内容の確認ができるよう配慮されている。 ・「わかったこと」の後に資料を配置し、それぞれに発展的な内容を取り上げ、学習をより深く理解できるよう工夫されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を明確に意識できるように学習の流れを紙面の左側と下に示し、児童にとって学習課題が常に明確になるよう構成が配慮されている。 ・巻末に「〇年生で学んだこと」を設け、学習内容が再確認できるとともに、次の学年との系統性が分かるよう配慮されている。 ・他教科との関連した資料を多く記載し、関連付けて学べるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・表紙や裏表紙に学習内容に関連する科学者の写真や言葉を掲載し、探究心を喚起させている。 ・実験器具の使い方について、二次元コードから動画を見ることができ、技能がより定着するよう配慮されている。 					

						種目	理科
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社	
		理科304 みらいをひらく 小学理科3	理科404 未来をひらく 小学理科4	理科504 未来をひらく 小学理科5	理科604 未来をひらく 小学理科6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察をする際、イラストや吹き出しを用いて「問題」「予想しよう」の過程を丁寧に記載している。そして、自ら課題を見つけ、予想を立て実験計画や観察計画を立てることを重視し、問題解決学習ができるように配慮している。 ・「学びを広げよう」では、「科学の窓」「チャレンジ」「資料」等のコラム記事を通して、学習への興味関心を高めたり科学的な見方や考え方を深めたりするような工夫がされている。 ・考察の場面では、キャラクターの吹き出しで客観性のある結論が導き出せるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・導入では、誰もが経験しているような話題（現象）を取り上げたり、既習の学習から疑問を膨らませたりして問題を想起し、意欲的に問題解決学習ができるように扱われている。 ・単元の終わりに「たしかめ」のコーナーを設けており、学習の理解度が確認できるように記載されている。 ・「資料」「科学のまど」では、学習内容に関連する実生活や過去の実験を示し、理科を学習する有用性を感じる内容が記載されている。 ・「注意マーク」「危険マーク」の記載、裏表紙に「理科の安全の手引き」を掲載するなど安全面の配慮がされている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・3～6年では、単元の最初のページには他学年とのつながりが明記され、系統性を意識しながら学習できるように配慮されている。また、4～6年では、巻頭で「〇年で学んだこと」を設け、既習学年の学習内容を振り返りながら学習が進められるよう配慮されている。 ・巻頭の「学習の進め方」「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を示すことにより、科学的な思考力をつけるための工夫がされている。 ・「調べ方、使い方」において、実験や観察の準備物や実験器具の使い方が細かく書かれていて、教材研究する教師側も、使用する児童側も把握しやすい。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題が一目見て分かりやすいように、字の大きさ・枠の色などを工夫したり、キャラクターを用いて導入・まとめの仕方の方向性を示したりしている。 ・教科書は、ユニバーサルデザインフォントを使用し、図が大きくきれいなカラー刷りで分かりやすい。 ・「資料」として必要な情報が図に添えられており、科学の知識が増えるよう内容に工夫がされている。 ・「わたしの研究」では、各学年の学習内容に関連した理科研究の進め方を紹介しており、興味をもった内容のさらなる研究を喚起している。 					

教科用図書の記号・番号・名称						種目	理科	発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年			株式会社 新興出版社 啓林館
		理科306 わくわく理科 3	理科406 わくわく理科 4	理科506 わくわく理科 5	理科606 わくわく理科 6			
観 点		調 査 の 結 果						
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、自然の不思議さを感じたり神秘さに触れたりできるような内容が盛り込まれている。 主体的・対話的で深い学びを実現できるように、「見つける」→「調べる」→「ふり返る」の学習過程で、問題解決の力が高まるよう、単元の導入から、予想や実験方法・結果・考察・まとめなどフラッグとラインで示されている。 単元の導入は学習内容に関連したイメージしやすく精選された、内容の写真資料が提示されている。 児童たちが話し合っているイラストなどで、児童自身が考え、話し合っ「問題」を見いだす過程が分かるように配慮されている。 観察・実験の「予想」、「結果から考えよう」では児童の意見を例示するなどして、話し合い活動を支援する工夫がされている。 なぜそうなるのかをよく考察してから「まとめ」をすることで、より科学的に考え話し合う活動が展開できるよう「結果から考えよう」が設けられている。 単元末には、学習した基礎的・基本的な問題を掲載し、知識・技能の定着を図るよう「たしかめよう」が設定されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験は安価な物を活用することで、安全でより成功度の高い方法が取り入れられている。 単元末の「つなげよう」や単元内の「理科の広場」では、多くの写真を掲載し、理科への関心を高め、有用性を感じられるよう配慮されている。 発展的な内容は、児童が興味を示すような資料や実験を多く取り上げている。そこには仕組みや方法などの解説が詳しく掲載されている。 単元末に学習したことを簡潔に分かりやすくまとめた「まとめノート」があり、児童自身でまとめる際の参考にすることができるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> 各単元は季節に応じて学習しやすい時期に設定され、単元間の関連づけに配慮しての単元配列になっている。 年間の標準時数で十分に指導できるよう、各学年約 10 時間程度の余裕をもって学習できる分量で構成されている。 複式学級においての年間指導計画は、2 学年分の内容を扱うため、内容の系統性、時数や教材の難易・領域・分野ができるだけ均等になるよう配慮されている。 随所に二次元コードがあり、それを読み取ることで前学年までの復習や器具の使い方など、まとめについて写真や動画を見ながら効果的に学習できるように配慮されている。 						
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> 観察カードや「まとめノート」など児童の記録例を多く掲載することで、予想や考察をする際、自分の考えを図で表したり、科学的用語を使って表現したりする活動を促すよう配慮されている。 写真や資料を意図的に配置することで思考のイメージが明確となるよう工夫されている。 文章の文節改行やユニバーサルデザインフォントが使われ、見やすく読み間違いにくい配慮がされている。 色覚の個人差に関わらず、すべての児童が支障なく学習できるように、配色・表現などに配慮されている。 基本的な器具の扱い方が大きく丁寧に載っている。異なる器具を使用する別の方法も載っている。既習事項の器具の取扱い方を振り返るページも掲載されているため、技能の定着が図られやすい。 						

令和2年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

生 活

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

		種目	生活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		東京書籍株式会社	
生活101 どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上		生活102 あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下	
観点	調査の結果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下巻を通して内容の「家庭と生活」「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「自分の成長」が重視されており、目標・内容に適合している。 ① 入学期の児童が無理なく学校生活を始められ、また、生き生きと活動できるように「がっこうせいかつすたあと」が設けられており、学校生活や学習での一日の流れがイメージできるようになっている。 ② 学校の様子を家庭で報告したり、家庭における自分の生活を見つめ直した、積極的に役割を果たしたりすることができるよう工夫されている。また、写真や絵を用いて、1日の生活を意識する場面を示し、規則正しく健康に気をつけて生活できるよう配慮されている。 ③ 季節の変化を公園や商店街などで比べたり、日本の伝統行事やお祭りなどを紹介したりして季節の変化に気付くことができるよう工夫されている。 ④ 児童の興味・関心が広がり、主体的な活動や交流が行えるよう、草花や木の実など季節の物を使い、様々なおもちゃで遊びを広げながら、工夫して取り組めるよう工夫されている。 ⑤ 多様な植物の種子や発芽、野菜の成長の様子を比べたり、生き物の飼育の仕方を扱ったりすることにより、動植物への関心・意欲を高めるよう工夫されている。 ⑥ 児童が幼児期の子供を学校案内したり、自分ができるようになったことを振り返ったりすることで、自分自身の成長に気づくよう配慮されている。 ・ 昔から伝わる伝承遊びや伝統行事、草花遊びなどが豊富に掲載され、身近な地域で働いたり、生活したりしている人々と繰り返しかかわることを通して、身近な地域に愛着をもてるよう配慮されている。 ・ 上巻では、具体物を使った振り返り活動を通して深い学びが実現できるよう配慮されている。また、下巻の「学びを深める」コーナーでは、児童が思いや願いを実現していく過程で、友達と対話しながら試行錯誤する様子や、伝えあいを通して新たな気付きが生まれる様子などを具体的に例示し、対話を通して深い学びが実現できるよう配慮されている。さらに、これまでの学習活動を可視化し、振り返ることのできる掲示物や、伝え合いや交流が生まれる場の設定が 		
2 程度・選択・取扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上巻のスタートカリキュラムである「どきどき わくわく 1ねんせい」では、入学に関わる生活の様子を豊富な写真とイラストで提示し、児童が見ただけで分かるよう配慮されている。学校生活が円滑にスタートできるように、入学後間もない1年生への合科的な指導や、幼児教育との連携についても配慮されている。 ・ 上下巻の最後に、「自分の成長」に関する単元を設定し、児童の喜びや意欲が次の学習につなげられるよう配慮されている。 ・ 上下巻とも単元の後に「やってみよう」のコーナーを設けられており、学校や児童の状況に応じて発展的・選択的に活用し、学習をまとめたり深めたりすることができるように工夫されている。また、児童の思いや願いを大切にできる、身近で取り組みやすい活動や教材が取り上げられている。 ・ 上下巻の巻末に「べんりてちょう」や取り外しができる「ポケットずかん」などが掲載され、学習を進める上で必要な習慣や技能を活動に応じて活用したり、気付きの質を高めたりすることができるよう配慮されている。また、単元の最後の「やってみよう」では、思考を促す学習活動を掲載し、深い学びにつながるよう工夫されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の発達の段階や特性を踏まえ、関わる対象や児童の思いの質、育成する資質・能力などが、上下巻で段階的に深まるように、単元の構成が工夫されている。 ・ スタートカリキュラムとして、保護者向けに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明記し、保護者と教職員が連携を図れるよう配慮されている。 ・ 学びの基本となる「つながるひろがる」や「かつどうべんりてちょう」、「他教科との関連的な指導のヒント」が明記され、中学年以降の学習への接続に配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板の端に、その時間の学習の流れを示したボードが掲示されているなど、随所に授業のユニバーサルデザインに配慮した指導方法が工夫されている。 ・ 学校図書館を探検したり、本を使って調べたりするなど、学校図書館や本、読書に親しむ活動が随所に取り上げられている。 ・ 栽培活動の単元では、幅の違う変形判ページが効果的に使われている。ページをめくりながら種まきから開花、結実と成長過程の変化や、種の種類による芽や花の違いなども一目でわかるようになっており、楽しみながら学ぶ工夫が設けられている。また、植物の成長がパノラマページで見渡せるよう工夫されている。 ・ 繰り返し大切に使う、節電・節水、3Rなど、持続可能な社会の担い手を育むための資料が取り上げられている。 ・ 「じょうほうききをつかおう」が設けられ、適切にICT機器が活用できるよう配慮されている。 ・ 家族で通学路の安全を確かめたり、災害への対応を掲載したり、保護者と連携した児童の安全指導を例示したりするなど、児童が安全に生活できる力を身につけられるように配慮している。 		

		種目	生活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		大日本図書株式会社	
生活103 たのしい せいかつ 上 なかよし	生活104 たのしい せいかつ 下 はっけん		
観点	調査の結果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。 <ol style="list-style-type: none"> 「家庭と生活」 学校生活の様子を話す場面を適宜設けてあり、家庭との連携が図られている。また、様々な場面での家庭の一員として活動する内容が組み込まれており、児童が描いたカードや、写真・吹き出しを使って表現方法を例示するなど工夫されている。さらに、様々な場面において家庭の中での自分の役割による気付きよう配慮されている。 「公共物や公共施設の利用」 公園や図書館など、様々な人たちが利用する施設のきまりを守ることや、働いている人について気付きことができるように工夫されている。 「動植物の飼育・栽培」 身近な虫や草花、野菜、小動物などの世話を通し、生き物への興味・関心が高まり、試行錯誤しながらかわることができるよう工夫されている。 「生活や出来事の伝え合い」 幼児や高齢者、町の人などとの、交流活動を通して、学習したことや人と交流することの楽しさを伝えることができるよう配慮されている。 「自己の成長」 自分ができるようになったことや、生まれたときから今までの様子を振り返る活動を通して、実感した成長を発表することにより自己の成長に気付き、今後の生活に目標や希望をもてるよう配慮されている。 地域の行事の伝統を理解し、実際に参加することで、地域に親しみ愛着をもち、積極的にかかわろうとする態度が養えるよう配慮されている。また、多様な活動を例示し、地域の実態に応じて活動が選択できるように配慮されている。 児童の実態に合わせ、絵や言葉だけでなく、動作化や劇化など多様な方法表現を楽しむ場面を例示し、ペアやグループなどの交流場面を設けることから、伝え合いによる気付きを共有化し、質を高め、次の活動の意欲へとつなげるような流れが工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱について	<ul style="list-style-type: none"> 入学当初の生活の様子を豊富な写真を用いて紹介し、子どもたちが安心感と自信、期待感をもって学校生活を始めることができるよう配慮されている。 透明シートを使用して、一日の時間意識を養うとともに、夜にも働いている人がいることや、生き物にも営みがあることを、ライトを使った仕掛けで児童が興味を持てるように工夫されている。 巻末の「がくしゅうどうぐぼこ」では、図鑑として活用し、調べるという学びの基礎を養うとともに、活動の中で活用することで、児童に深い学びに導くための工夫がされている。 単元の終わりに、発展的学習内容を設け、児童の興味・関心に応じて、上学年の内容を活動に関連させて扱うことができるよう配慮されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 上巻の導入部分では、スタートカリキュラムとして学校での様子を紹介し、スムーズな学校生活が送れるよう配慮されている。 上巻では各季節をテーマにした4つの単元、下巻の前半では季節や自然を扱ったもの、後半では町探検やおもちゃ作り等を含んだ5つの単元と、少ない構成になっており、学校の実態に合わせて単元の組み換えが簡単にできるよう配慮されている。 上下巻末に「がくしゅうどうぐぼこ」として学習の発達段階的な内容及び自然災害や交通安全、マナーや諸外国の挨拶など総合的な学習の時間につながる内容が多く掲載され、中学年以降の学習への関連が図られている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 上巻では、児童の学習状況に合わせて、冬休み前の学習までは、漢字だけでなくカタカナにもルビがふってあるなど配慮が見られる。 秋の色をあえて白黒にするなど、児童に秋の色を想像させるよう工夫されている。 児童の言語能力が育まれるよう、「せいかつことば」において様々な言葉を紹介している。また、発表・交流活動において、「はなしかためいじん」「ききかためいじん」や発表するときの話型を示したり、「きらきらことば」を設けたりすることで、友達との交流をより深めるための配慮がされている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 ・ 2 年		学校図書株式会社	
生活105 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上	生活106 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下		
観点	調 査 の 結 果		
1 内 容 に つ い て	<p>1 上下巻を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。</p> <p>① 「家庭と生活」 家庭で自分ができることを写真やカードを用いて順序よく配置することで、自分が家庭のためにできることがイメージしやすく、自分でできることについて考え、支え合って生活しているかが分かるように工夫されている。</p> <p>② 「公共物や公共施設の利用」 公園や図書館などの使い方やきまりについて気付き、考えることができるよう配慮されている。</p> <p>③ 「自然や物を使った遊び」 季節の草花や木の実、身の回りの物など様々な材料を使った、多種多様な遊びが紹介されており、試行錯誤をしながら遊びを深めるよう工夫されている。</p> <p>④ 「動植物の飼育・栽培」 多種多様な草花や生き物などの世話や飼育の仕方について詳しく扱っており、興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 「自己の成長」 できるようになったことや新入生を迎える活動、友達のよさを伝える活動や自己を振り返る活動を通して、自分に自信をもち、これからの成長への願いをもって、生活に意欲的に取り組めるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の祭りや行事の具体例を示すことにより、自分の地域へ目を向け、自分の地域を生かした活動に結びつくよう配慮されている。また、雪の降る地域と降らない地域への対応のように、教材や活動を複数提示することにより、地域の実態に合った活動に対応できるように工夫されている。 ・ 活動の楽しさを伝える写真やイラスト、親しみやすいキャラクターと適切な吹き出しなど、自分でやってみたいという児童の主体的な活動を引き出すよう工夫されている。また、児童の主体的な活動を支援する「ものしりノート」や「学び方図かん」が充実しており、自分で活動を広げていけるよう配慮されている。児童の発達段階に応じて対話への場面を設定し、自分の考えを広げたり深めたりできるよう配慮されている。 		
2 い に つ い て 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元最初のページには、大きな写真を掲載し、これから行う活動についての意欲を喚起するよう配慮されている。上巻では、幼児期の学びの体験や経験、下巻では、一年での体験や日常経験をイラストで示し、子どもの活動意欲が喚起できるように工夫されている。 ・ 植物や生き物のイラストを見開きのページに記載することで、児童の興味・関心が広がるように工夫されている。 ・ 各単元の終わりでは、記録などをもとに振り返る場面が設けられており、自分自身の成長に気付くための配慮がなされている。 ・ 随所に出てくる「ものしりノート」が活動のヒントになったり、既習内容の確認になったりするように工夫されている。 		
3 つ い て 組 織 ・ 配 列 ・ 分 量 に	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタートカリキュラム「がっこうだいすき」では、発達段階や個人差を考慮し、学校生活の一日の流れが、イラストに短い文のみで構成され、入学間もない児童に適したものになるよう工夫されている。 ・ 活動ごとに大単元になっているので、活動時期を特定しないで、自由に学習時期を組み替えたり、軽量をつけて指導したりできるよう工夫されている。 ・ 各単元を4つの段階に区分し、現在の学習がどの地点での学習なのか分かるよう工夫されている。 ・ 巻末の「学び方図かん」では、基本的な学習習慣のみならず、発表の仕方や発見カード、作文の書き方など、国語との関連を図っており、児童が分かりやすいように配慮されている。 		
4 本 書 の 特 徴 点 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラーユニバーサルデザインを配慮し、過度の色使いをせず、記号やマーク表示をできるように抑え、紙面をシンプルに構成し、子どもたちが情報を読み取りやすいように配慮されている。 ・ 地域によって町探検の活動がしにくい場合のために、公共施設や障害のある人も利用できる施設などが取り上げられている。また、利用方法やマナーをイラストや写真で示すことにより、地域・社会の一員として多様な人たちに配慮することに気付き、社会のためによりよい行動ができるように配慮されている。 ・ 学習したことを伝え合う活動として、新聞や造形、歌、劇など、多様な表現で発表している様子を描く工夫がされている。 ・ そのときの自分の気持ちや伝えたい思いをマークやタイトルで示し、その思いに沿って文章や絵でかいていくなど、発表段階に配慮したカードの工夫がされている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 年		教育出版株式会社	
生活107 せいかつ上 みんな なかよし		生活108 せいかつ下 なかよし ひろがれ	
観点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・上下巻を通して、小観点の「地域と生活」「公共物や公共施設の利用」「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「自分の成長」が重視されており、目標、内容に適合している。 ① 身近な地域で生活したり働いたりしている人々と繰り返し関わり、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。また、地域にある店や施設について、吹き出しや地図などの挿絵を入れることで分かりやすく、身近なものとして捉えられるよう関連付けられている。 ② 探検活動を2回行うことで、ステップアップした探検活動ができるように構成を工夫している。特に2回目の町探検では、実際に仕事を行う活動を取り入れることで、町の人々との交流を深め、児童が地域について考え、主体的に活動できるよう工夫されている。 ③ 図書館の利用の仕方を詳しく扱っていたり、消防署などの公共施設について興味をもてるよう工夫されている。 ④ 四季折々の公園や町の様子を比べ、季節を五感により感じ取り、草花や生き物、遊びに興味をもてるよう工夫されている。 ⑤ 草花や木の実などを使って、遊びを繰り返し、試行錯誤しながらより工夫したおもちゃを考えることができるよう工夫されている。 ⑥ 自然にいる生き物の成長過程や植物の成長過程を写真で紹介し、児童の興味を引く内容となっている。 ⑦ 多様な観点から自分自身の成長を振り返り、自分の価値に気付けるよう配慮されている。上巻では、1年間を振り返る単元で、下巻では成長を振り返る単元で扱われている。自分の成長を調べ、自己肯定感をもてるような内容になっている。 ・地域の特色を生かした活動や、地域の慣習や行事に目を向ける活動・資料が豊富に掲載され、地域の実態に応じた配慮がされている。 ・単元を通して、学習の見通しを立てたり、学習を振り返ったりして、自分の学びや変容を自覚し、友達との対話によって自分の考えを広げたり、深めたりする学習および指導ができるよう工夫されている。さらに、各単元にある「なにをかんだかな」のページでは、言語活動、絵、カードなど、学習活動に適した表現活動を例示し、「まんぞくはしご」を使った自己評価や、気になることを書き込む欄を設けて、主体的・対話的で深い学びへと導く振り返りができるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・2人の主人公を中心に表現活動が例示されており、自分を映す対象があることで、比較や関連付けがしやすくなるよう配慮されている。 ・写真を用いたクイズを用いることで、動植物への関心が高まるよう配慮されている。少しのハードルが「本気」を引き出し、もっと知りたいと思わせるような工夫がされている。 ・随所に「ヒント」や「はってん」、巻末に「学びのポケット」を配置して、補充的・発展的な学習につながるよう工夫されている。さらに、「つたえたいな」では、学習したことを家庭での活動に発展できるよう配慮されている。 ・「ヒント」コーナーで学習のポイントを示し、さらに、ページ右上の「まなびのぼけっと」では、同じ数字のページを見て学習の補充ができるよう工夫されている。また、「まんぞくはしご」で学習を振り返り、考えを深めることができるよう工夫されている。 		
3 組織・配列・	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻「きょうから1ねんせい」では、幼児期の学びの生活のイラストと小学校生活の写真と比較しながら、幼児期の学びが生活科を中心に各教科へ円滑に移行できるよう配慮されている。 ・各ページに、児童に備わっている6つの「力(きづく、じぶんでできる、かんがえる、つたえる、ちょうせんする、じしんをもつ)」をマークとして記し、見た人全てに学習の「めあて」がつかめるよう工夫されている。 ・単元のとびらにインデックスが表示されおり、そのインデックスをたどることで他教科との関連や身に付けたい技能等が分かるよう工夫されている。 ・食事や食物への関心を促すことができるよう、野菜の栽培活動に自分たちの食事との関わりが深い「ダイズの『ミニ知識』コラム」や、「食育を意識した振り返り」が設けられるなどの配慮がされている。 		
4 本書の特徴点	<ul style="list-style-type: none"> ・「導入」「活動」「振り返り」の展開が分かるデザインになっており、思考力を磨くヒントや約束・マナー、衛生面や安全面などの大切な情報は、必ず奇数ページの右肩に掲載する工夫がされている。 ・ウェビング、Xチャートなどの思考ツールが板書例の中に示されたり、「学びのポケット」にプログラミング的な思考方法を育てるための学習方法を例示したりする工夫がされている。 ・四季の変化の資料図があり、児童が季節の特徴を見つけて比べる楽しさに引き込まれるよう工夫されている。 ・単元と関連のある本が紹介されている。 ・「もしも」のコーナーが設置され、クイズや答えのありかを探すしつけや、「知りたい」を刺激する投げかけなど、児童の豊かな発想を広げるよう工夫されている。 ・昨今の気候変動や安全教育について配慮されており、家や外での約束や災害時の過ごし方が示されている。 ・活動を見通したり、振り返ったりする場面に「空欄」が設けられ、学びの軌跡を残すことができるよう工夫されている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 年		光村図書出版株式会社	
生活111 せいかつ上 まいにち あたらしい		生活112 せいかつ下 だいすき みつけた	
観点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して、小観点の「学校と生活」「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「自分の成長」が重視されており、目標、内容に適合している。 ①「学校と生活」 学校探検では、会話文をヒントに児童の思考に沿って、気付きの質がたまるような言葉がけが示されている。また、通学路の様子など、絵を使い場面を想像しやすいよう配慮されている。 ②「季節の変化と生活」 季節の変化を公園や商店街などで比べたり、日本の伝統行事やお祭りなどを紹介したりして季節の変化に気付くことができるよう工夫されている。 「自然や物を使った遊び」 草花や木の実など季節の物を使い、様々なおもちゃで遊びを広げながら、工夫して取り組めるよう工夫されている。 「動植物の飼育・栽培」 多様な植物の種子や発芽、野菜の成長の様子を比べたり、生き物の飼育の仕方を扱ったりすることにより、動植物への関心・意欲を高めるよう工夫されている。 ③「自分の成長」 それぞれの学年で単元ごとに振り返りを設けており、それをを用いて自分の学びを振り返ることができ、自己の成長を実感できるよう工夫されている。また、身近な人々との適切な関わり方や態度が身に付けられるよう配慮されている。 ④ 通学路で安全を守ってくれる人や、町探検で出会う人など、児童自身と地域の人々との関わりを深める活動を豊富に示し、多様な活動場面や、様々な学習材を取り上げており、地域の実態に応じるよう配慮されている。 ⑤ 単元の導入「ホップ」では、学習のスタートからゴールまでを児童自身が見通し、主体的に活動に取り組ませ、単元の展開「ステップ」では、児童が試行錯誤する活動や体験活動と表現活動を繰り返しながら学びの質を高めていく活動が示され、単元の振り返り「ジャンプ」の発言令では、「深い学び」が見取れる内容が精選されている。特に、児童自身に考えてほしい点は「どうすればナナー」で示し、主体的・対話的で深い学びの姿を具体的に示す工夫がされている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 上巻「あたらしいいちねんせい」では、入学当初の生活の様子を豊富に写真を用いて紹介し、子どもたちが安心感と自信、期待感をもって学校生活を始めることができるよう配慮されている。 低学年児童にとって、身近で親しみやすい対象や、興味・関心がもてる活動例が取り上げられている。下巻の「小さな友だち」では、ダンゴムシの動作を身体表現するなど、子どもたちの発達の段階に適した学習活動を紹介するなど工夫されている。 自分の振り返りを巻末のシールに書いて貼ることで、自分の学びを振り返ることができ、達成感や充実感とともに、「自分だけの教科書」を作ることができるよう工夫されている。 単元と関連の深い資料「もっとやってみたい」のページを設けることで発展的な学習につながるよう配慮されている。 		
3 組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 各単元ごと「ホップ」、「ステップ」、「ジャンプ」の三段構成にしている。「ホップ」画面では導入として児童の日常を想起しやすくし、「ジャンプ画面」では学習したものを応用・発展させるものを掲載するなど、学習の流れやねらいが明確になるよう工夫されている。 活動のまとめりと細かく単元が設定されているため、指導の順序を柔軟に入れ替えることができるよう配慮されている。 上巻では入学当初の児童に向けて、写真や絵の表記を多くし、下巻では、総合的な学習の時間に向けて、自ら課題を設定し探求する内容を盛り込むなど、幼稚園・保育園、更に三年生との関連に配慮されている。 上下巻を通して、季節ごとに自然との触れ合いや動植物に関する単元を取り入れることで理科との関連を図っている。また、動植物の種を数えることで算数、動くおもちゃ作りで図工、理科との関連が図られている。 		
4 本書の特徴点	<ul style="list-style-type: none"> 色による識別に頼ることなく、形や濃淡で識別できるようにしたり、色で答える問いとする学習活動を設定しないよう配慮がされている。また、写真等に文字が載る場合は、文字の下に白い影を設け、文字を判読しやすくするよう工夫されている。 観察カードを時系列で横につなげて振り返ったり、カードを掲示物にまとめて情報共有したりするなど、言語活動の充実に向けた多様で具体的な例が随所に取り上げられている。 安全に配慮された内容が多く、注意喚起の必要な内容にはマークが付けられたり、巻末資料では安産に関する注意が示されたりするなどの工夫がされている。また、二次元コードの資料においては、安全に関する動画が豊富に取り上げられている。 四季を通じて身近な自然を体全体で感じることができるような活動を豊富に示し、自然の不思議さや面白さに気付くことができるよう、言葉や写真・イラストによる表現が工夫されている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		株式会社	
生活113 わくわく せいかつ上		生活114 いきいき せいかつ下	
生活113 わくわく せいかつ上		生活114 いきいき せいかつ下	
観点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して、小観点の「学校と生活」「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「自分の成長」が重視されており、目標、内容に適合している。 ①「学校と生活」 学校探検では、吹き出しなど児童の意欲が高まるよう工夫され、見つけたことを発表するという活動を取り入れるなど、意欲的に取り組めるよう工夫されている。さらに、校庭や学校の周りにある物、通学路や学校の近くの遊び場へ探検に行く活動を通し、安全に配慮した内容も取り入れるなど配慮されている。 ②「季節の変化と生活」 公園での自然や季節の遊びの変化を感じたり、日本の四季折々の伝統的な行事やお祭りを扱ったりして、身近なところから視野を広げて季節を感じとることができるように工夫されている。 「自然や物を使った遊び」 木の実や身近な材料を用いて試行錯誤を繰り返し、遊びを広げ、さらに、深められるよう工夫されている。 「動植物の飼育・栽培」 様々な種や花、野菜を扱ったり、生き物に親しんだりして、児童の気づきや疑問を取り上げ、よりよく実践につなげることができるよう工夫されている。 ③「自分の成長」 自分の成長を振り返り、お世話になった家族や周りの人に感謝の気持ちを表し、自己肯定感がもてるよう工夫されている。 ④ 冬の単元では、雪が降る地域でも、降らない地域でも活動が展開できるように、雪を利用した遊びと風を利用した遊びの両方が扱われ、地域の実態に応じた配慮がされている。 ⑤ 単元導入は、「わくわくの森」と「わくわくボックス」で構成され、児童の日常生活から学びの見通しをもち、主体的な学習活動につながるよう配慮されている。主たる活動「いきいき」のページでは、気付いたことを基に考えるための、多様な学習活動の例を、写真・イラスト・児童の台詞などで示し、気付きの質を高めるよう工夫されている。単元末「ぐんぐん」では、様々な表現活動が組織的・系統的に設定され「できるかなできたかな？」や「ひろがるきもち」のコーナーでは、学習過程や成果を振り返り、学びの深まりを実感することで、次の学習や生活に活かせるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 上巻の「がっこうだいすき あいうえお」では、写真と絵を豊富に取り入れ、学校での生活の様子をわかりやすく提示し、幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における学習に円滑に移行できるよう配慮されている。 各単元ごとの扉のページに、児童が笑顔で活動している写真を掲載し、学習への関心・意欲が高まるよう配慮されている。また、単元導入の「わくわくボックス」では、実物大図鑑や書き込みができるページなどを設け、児童の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 上下巻の巻末に、「がくしゅうずかん」を設け、児童の活動をより広げ、深めるものとして発展的な内容が取り上げられている。 下巻の「3ねんせいへのステップブック」では、キャリア教育の手がかりとなる内容を取り上げ、中学年以降の学習へ円滑に接続できるよう工夫されている。 		
3 組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の流れを導入（わくわく）、活動（いきいき）、振り返り（ぐんぐん）の三段階で表示しており、段階的な学習活動が行えるよう配慮されている。 単元が大きくゆったりとしたくくりとなっており、年間活動計画には「ゆとり」が組み込まれるなど学校や児童の実態に合わせた工夫ができるよう配慮されている。 上下巻ともに「きせつだより」が設けられ、家庭や地域でも自主的に活動を発展させることができるよう工夫されている。 「こんなときどうしよう」のコーナーでは、挨拶やマナーなど道徳教育との関連に配慮されている。 ウェビング法やYチャート法を用いた板書が掲載され、総合的な学習の時間との関連が図られている。 		
4 本書の特徴点	<ul style="list-style-type: none"> 色覚の個人差を問わず、誰もが紙面の内容を判別しやすいうように配色が工夫されている。また、色だけで区別するのではなく、文字情報も添えるよう配慮されている。 板書、付箋、ICTを活用する学習活動が豊富に掲載され、児童の気づきを共有化・可視化する工夫がされている。 危険な生物（スズメバチ、チャドクガの幼虫など）については、「きをつけよう」のコーナーに写真を掲載し、活動前に安全指導ができるよう配慮されている。また、（ザリガニカビ病などの）衛生面に不安のあるアメリカザリガニの掲載を避けるなどの配慮もされている。 情報の発信者、受信者、利用者としての視点で、低学年でも様々な情報手段の活用を示唆する工夫がされている。 巻末の「がくしゅうずかん」の健康に関する資料には、「おいしくたべよう」のコーナーが設定され、食育にも配慮されている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 年		日本文教出版株式会社	
生活115 わたしと せいかつ上 みんな なかよし		生活116 わたしと せいかつ下 ふれあい だいすき	
観点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して、小観点の「地域の生活」「公共物や公共施設の利用」「自然や物を使った遊び」「生活や出来事の伝えあい」「自分の成長」が重視されており、目標、内容に適合している。 ①「地域の生活」 2回の町探検を通し、自分たちの地域のよさに気づき、愛着をもてるよう配慮されている。児童の思いや願いを大切に、インタビュー活動や職業体験を行う活動を取り入れることで、地域の人々と関わりをもち、そこで生活したり働いたりしている人々について考えられるよう工夫されている。 ②「公共物や公共施設の利用」 学校の近くにある公共物や公共施設に着目し、図書館などの使い方やマナーについて気付けるよう工夫されている。「自然や物を使った遊び」 季節の草花や木の実、身の回りの物などを使った遊びを考え工夫することにより、さらに、遊びを深めていくよう工夫されている。「生活や出来事の伝え合い」 目的意識をもち、見通しを立てて学習を行い、学んだことを高齢者や幼児などに伝え、交流を楽しむよう工夫されている。 ③「自分の成長」 自分の成長を振り返り、自他共によさに気づき、多様な方法でまとめることができるよう工夫されている。 ④ 地域の中にある公園を学習の場として設定し、繰り返し関わりながら、季節の変化に気づく学習活動や、地域の中で生活している人々と関わる学習が展開していく事例が、挿絵は吹き出し、表現作品などで示され、地域実態に応じた配慮がされている。 ⑤ 板書を中心に、多様な表現方法や話し合いの場面などが具体的に例示されている。導入の場面では、児童がどのような学習をしているのかという見通しをもてる構成になっており、主体的・対話的に考えて、自ら問いを見い出せるよう配慮されている。振り返りの場面では、次の課題が見つかるよう工夫され、文章や写真、イラスト、吹き出しなどが、「見つける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」などの多様な学習活動と関連づけられており、学びが深まるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムとして、上巻「いちねんせいになったら」では、写真を豊富に取り入れ、学校での生活の様子を分かりやすく提示し、入学当初の一年生の発達に合わせて、基本的な生活習慣の確立が図られるよう工夫されている。 実際に行われている授業の写真を掲載することで、児童の気づきが具体的になり、学習の見通しをもてるよう工夫されている。 上巻では、数ページを山折りすることで、植物の成長過程が一覧できる立体の仕掛けを作るなど、初めて使う教科書に親しみを感じられるよう、遊びを通した学びが取り入れられている。 単元に深く関連する内容を、「ポケットずかん」として単元末に収録し、学習したことを生かして取り組める活動の例を示すなど、補足的・発展的な学習につながるよう配慮されている。 		
3 組織・配列・	<ul style="list-style-type: none"> 上巻では幼児教育との関連を考え、植物の栽培や生き物の飼育を中心とした内容を掲載し、児童の情緒面や学習の基本が学べるようになっており、下巻では三年生へ向けて社会や理科の基本となる内容を設ける工夫がされている。 各ページに児童に身につけてほしい資質・能力が「学習のめあて」として明示されており、教師にとっては評価の基準として活用できるよう配慮されている。 学びの連続性を重視し、下巻の冒頭に二年生におけるスタートカリキュラムが設定され、二年生の学習にスムーズに適応できるよう配慮されている。 他教科との学びをつなげる事例が随所に写真や絵で取り上げられている。 巻末に、学習に必要な知識及び技能、習慣の習得に役立つ「ちえとわざのたからばこ」が掲載とされ、基本的な学習習慣や国語をはじめとする各教科への関連が図られている。 		
4 本書の特徴点	<ul style="list-style-type: none"> 教科書をモノクロコピーしても、通常のカラーの教科書同様に活用できるようなデザインが工夫されている。また、障がいのある人への関心を高めるため、盛り上がり印刷で凸部分を作るなど、児童が展示を直接体験できるページを用意するなどの配慮がされている。 ウェビング法やYチャート法を用いた板書や挿絵、写真、吹き出し、表現作品など、様々な学習活動の事例が取り上げられている。「条件分岐」、「繰り返し」など、論理的思考力を育てるための考え方が工夫されており、プログラミング教育との関連が図られている。 オリンピック・パラリンピックとの関連が図られている。 防災、減災に加え、夏場の水分補給や動植物アレルギー、食物アレルギーへの配慮など、「日常の安全」という観点で十分な配慮がされている。 		

令和2年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

音 楽

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

種 目						音 楽
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社
音楽101 音楽のおくりもの1	音楽201 音楽のおくりもの2	音楽301 音楽のおくりもの3	音楽401 音楽のおくりもの4	音楽501 音楽のおくりもの5	音楽601 音楽のおくりもの6	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞を関わらせた多様な音楽活動ができるよう配慮され、児童自らが音楽のよさや面白さ、美しさに気付く、主体的な学びをサポートするような工夫がされている。 ・〔共通事項〕をページの上部に掲載し、常に音楽活動のもとを意識した活動ができるよう配慮されていることなど、表現や鑑賞の各活動から感じ取れる要素について、相互に関連させて学習に生かせるよう配慮されている。 ・巻末には、「音楽を表わすいろいろな言葉」が掲載されており、音楽科における言 				
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・映画の主題歌、様々な国やジャンル、演奏形態の音楽など、児童にとって魅力のある教材が取り上げられ、音楽の楽しさや美しさを感じ取れる学習活動ができるよう配慮されている。 ・丁寧なステップアップによる構成や配列がされ、発達の段階を踏まえて、児童の基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう、題材構成や表記の仕方について配慮されている。 ・学習の振り返りや資料等へのリンクを表すマークが明示しており、巻末折り込みに資料が豊富に掲載され、資料の活用により着実に基礎・基本が身に付くように配慮されている。 ・発展的な学習内容については、マークで明記され、児童の興味・関心や教材との関連に配慮した扱いとなっており、児童の実態に合わせ、既習事項を生かした発展的な音楽活動ができるよう配慮されている。 ・各学年ともに題材名、題材目標などが示されている。また、「音楽のもと」「前の学習を思い出そう」など、学習のヒントを示すマークが設定されており、児童が主体的に活動できるよう配慮されている。 				
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・領域間との系統性をもたせた設定がなされている。学習指導要領の目標や内容に対応し、中学校音楽との系統性や連続性を意識しながら、2学年ごとのまとまりを意識できるように関連が図られている。 ・低学年の音楽づくりでは、リズムによる音楽づくりを行ってから、旋律づくりの活動を行うという展開になっているため、子どもの活動が発展させやすい。 ・学習した内容が、生活や他教科等と関連付けて活用できるよう、日本の文化や行事の写真、地図を掲載し、他教科、他領域の中で活用できるよう配慮されている。 ・巻末に発展的な楽曲が多く掲載されている。 ・表現活動と鑑賞活動を効果的に組み合わせることによって学習により深まりが出るように配慮されている。 ・主要部分の教材と音楽ランド部分の教材を組み合わせることによって、学校や児童の実態に応じて題材を扱えるように配慮されている。 				
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・児童のイメージを喚起するイラストや写真が豊富に掲載され、透明シートや両開きの折り込みページなどが効果的に配置され、児童の想像力を豊かに育てる学習を展開したり、楽典を楽しく分かりやすく学ばせたりすることができるよう配慮されている。また、視覚的に分かりやすいマークや色が用いられている。 ・手話や足踏みのある全校合唱曲が掲載され、学校行事等で楽しく活用できるよう配慮されている。 ・4年生以上は、表紙の裏に世界的な音楽家のプロフィールやメッセージが掲載され、児童が音楽とのすばらしい出会いを感じ取ることができるよう配慮されている。 ・2年生以上では、「スキルアップ」で、ハンドクラップや早口言葉、ボディサウンド等、楽しみながら歌声とリズムのトレーニングができるよう、独自の教材開発がなされている。 ・低学年においては、身体を生かした様々な学習活動により、理解しやすく、深い学びに繋がるようになっている。 ・「まなびナビ」(中・高)は児童が見通しを持って学習でき、指導者にとっても指導上の留意点が分かりやすい。 				

						種 目	音 楽
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 教育芸術社	
音楽102 小学生の おんがく1	音楽202 小学生の 音楽2	音楽302 小学生の 音楽3	音楽402 小学生の 音楽4	音楽502 小学生の 音楽5	音楽602 小学生の 音楽6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の各活動において、多様な音楽活動を通して、児童が主体的に音楽を学ぶ喜びを味わえるよう工夫されている。 ・鑑賞では、感じ取る手立てとなる言葉を用いて曲の解説をし、話し合いがしやすいように配慮されている。 ・教材を指導する際の目安となる、「共通教材」に示された音楽を形づくっている要素がページ下に示され、「共通事項」を意識した学習の手助けになるように工夫されている。 ・学びの連鎖・他者とのつながりと学び合い・社会や生活への発展が明確に示されており、6年間の系統性がもてるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高学年の発達の段階を踏まえて、児童の基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるようになっている。 ・音楽づくりでは、児童が、「何を」「どう工夫して」音楽を作ればよいのかという見通しを持ってるように、作品例や様々なアイディアの例示がされ、思考・判断しながら、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、題材構成や表記の仕方が工夫されており、活動の手順が簡潔に示されている。 ・児童の心情に即した新鮮でアイディアに満ちた教材が扱われており、興味・関心をもって学習を進めることができるように配慮されている。 ・キャラクターの吹き出しの言葉により、具体的な学習の流れやヒントを示し、児童が主体的・発展的活動ができるように配慮されている。 ・歌唱や器楽の技能については、発達の段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。 ・各学年で学んだ重要な学習事項を、児童が自分で振り返りを確認することができる「ふり返りのページ」が設けられており、基礎的・基本的な学習の定着が図られるように配慮されている。 ・目次とは別に教科書の前の方のページで1年の学習の見通しがもてるようになっている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・相互に関連性を持った教材の配列により、積み重ねの学習や繰り返しの学習を行いやすく、音楽活動の基礎的な能力の定着・伸長が着実に図れるように配慮されている。 ・課題解決に向けた活動方法のイラストが分かりやすい。 ・発達の段階に応じて幅広いジャンルの音楽と出会うよう配慮されている。 ・「音楽づくり」の活動では、前の学年の学びが次の学年の学びにつながるよう配慮されている。 ・日本や世界の音楽や文化を扱った教材、自然や社会を扱った教材を取り入れるなど、学習内容が生活や他教科等と関連付けて活用できるよう配慮されている。 					
4 本書の特長 について		<ul style="list-style-type: none"> ・紙面上のQRコードを読み取り、ICT機器で学習活動に関連する内容を閲覧することができるようになっている。 ・「つながる」をキーワードに、子どもと社会、子ども同士、学びつながることを意識した内容や活動が工夫されている。 ・音楽と生活とのつながりや、郷土の音楽を身近に感じられるような、写真や活動が取り入れられている。 ・共通教材を「こころのうた」として提示し、説明文や情景写真を掲載することにより、日本の自然や四季の美しさを味わい、感受性を働かせながら歌えるよう配慮されている。 ・我が国の郷土を愛する心を育成することができるように「歌いつごう日本の歌」で、古くから親しまれている日本の歌を紹介したり、裏表紙に「祭りと楽器」の写真に掲載したりして、日本の音楽がより身近に感じられるよう配慮されている。 ・「鑑賞教材」では、郷土の音楽や民謡、日本の器楽を数多く写真で紹介し、日本の伝統音楽への理解を深められるよう配慮されている。 ・巻末に「音楽の歴史をつくった人」として、日本や世界の作曲家を紹介し、児童の音楽へ興味・関心を高め、知識を深められるよう配慮されている。 					

令和2年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

図 画 工 作

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	図画工作
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1・2年		3・4年		5・6年			
図工101 ずがこうさく 1・2上 わくわくするね	図工102 ずがこうさく 1・2下 みつけたよ	図工301 図画工作 3・4上 できたらいいな	図工302 図画工作3・4下 力を合わせて	図工501 図画工作5・6上 心をひらいて	図工502 図画工作5・6下 つながる思い	開隆堂出版 株式会社	
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各題材において、使用する道具や材料が、発達段階にふさわしいものが見やすく示されている。また、作り方が分かりやすく提示してあるので、教師も児童も安心して造形活動に取り組むことができる。 新学習指導要領の資質・能力の三つの柱に基づき、学習のめあてがページ最上部に目立つように端的に示されており、教師も児童も導入時に見通しをもちやすい。また、題材の中心となるめあてが色・下線付きで示され、重点化が図られている。さらに、振り返りのポイントを示し、評価にも役に立つページ構成になっている。 鑑賞において、言語活動が充実できるような、着眼点が多く表記してある。児童が実感的に鑑賞できるように工夫されている。 共同で行う活動が多く提示され、主体的・対話的で深い学びに対応した内容になっている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技法や材料、安全事項、製作手順などを枠で囲んで示し、児童が活動を進めていく上での配慮がなされている。掲示の仕方や片づけについても示してあり、参考になる。 巻末の「造形の引き出し」では、道具の使用方法が示されており、安全に表現活動ができるよう配慮されている。また、「ためしてみよう」では、基礎的・基本的な知識や技法が絵や写真などで分かりやすく示してある。 「みんなのギャラリー」のページを設け、地域の取り組みや伝統美術について触れることにより、社会に関わりながら生きる態度の育成を目指す工夫をしている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 学年の全体構成を見通しをもって視覚的にとらえることができる「カリキュラム編成目次」により、カリキュラム・マネジメントに対応している。 発達の段階に応じて、題材が系統的に配列されている。「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の各領域のバランスについても細かく配慮され、各領域の特色を生かした魅力的な題材が配列されている。 児童が日常生活の中で活用できるような題材が、各学年に配置されており、1・2年では、就学前の体験や生活科の学習を生かして取り組める活動を設定するなど配慮されている。また、高学年においては中学校で生かされるような内容を扱っている。 「あわせてまなぼう」では、他教科との関連をもって学習が進められるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 表紙の題字が造形的であり、子供の興味を呼ぶと考える。その教科書で扱う技法を使って題字がつくられていることも興味深い。 教科書紙面に掲載されたQRコードを通して、題材製作の手順やポイント、用具の使い方の動画を見ることができる。 「知識及び技能」・「思考力、判断力、表現力等」・「学びに向かう力・人間性等」に対応したキャラクターが登場し、親しみやすい紙面展開になっている。 色は教科書にとって重要な要素であるが、カラーユニバーサル機構認証マークが示され、色覚の個人差に対応する配慮がなされていることがわかる。 						

			種 目	図画工作
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1・2年	3・4年	5・6年	日本文教出版 株式会社	
図工103・104 ずがこうさく1・2 上下 たのしいな おもしろいな	図工303・304 図画工作3・4 上下 ためしたよ 見つけたよ	図工503・504 図画工作5・6 上下 見つめて 広げて		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領の資質・能力の三つの柱に基づき、各題材に児童に分かりやすい言葉で三つのめあてが設定してある。また、めあてに示された資質・能力が発揮されている活動場面の写真が掲載され、めあてをより具体的に理解できるようになっている。さらに、「学びに向かう力、人間性等」を見取るために、活動後に個人内評価を通じて見取る観点を各題材の最後に示してある。 ・ これまでも大切にされていた、生き生きとした児童の活動の様子の写真がふんだんに使用されている点は今回も継承されており、これは、児童がよいモデルとして関心をもつことができ、対話的な学びへとつながるものである。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「絵に表す活動」として、物語から感じたことや想像したことを表す題材が各学年に位置付けられ、言葉と造形とのつながりを重視している発行者の意図が表れている。 ・ 巻末の8ページに渡って「使ってみよう 材料と用具」のページが位置付けられ、新学習指導要領の図画工作科の目標(1)に示されている知識及び技能の習得に役立つものとなっている。 ・ 身近な材料を使って活動できる題材が多く、無理なく題材を扱うことができる。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「鑑賞する活動」の5つの分野で、発達段階に応じて題材がバランスよく配列され、系統性を重んじた題材配列となっている。各題材のページの初めに5つの分野が色とマークで識別できるようにわかりやすく示してある。 ・ 「ひらめきポケット」のページが各巻に設定され、形や色について興味をもつことができるように工夫されており、造形に関する感覚を磨くことができる。 ・ 2～4時間で扱う題材を基本としている中で、各学年の各学期に6時間ほどの長い時間をかけて扱う題材が一つ程度配列してある。じっくりと取り組める題材でこそはぐくめる力を意識した題材配列となっている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各題材の題字が造形的にデザインされており、美的価値を養うことができる。 ・ 児童の参考作品の質が高く、発想豊かで美しい色の作品が多数掲載されている。多様なモデルとして鑑賞することができ、児童の発想への大きなよりどころになる。 ・ 各題材に「きをつけよう」「かたづけ」の欄が設定されており、安全面に関する注意や環境に対する配慮等が示されている。 ・ 児童の活動の様子の写真に吹き出しが付け加えられておりめあての実現に向けたヒントになっている。 			

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

家 庭

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

					種 目	家 庭
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5・6年		東京書籍 株式会社
/				家庭501 新しい家庭5・6		
観 点	調 査 の 結 果					
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨が生かされ、児童の発達段階に応じて、基礎的・基本的な事項を適切に取り上げている。各大題材の最初に「家庭科の窓」が設定され、生活の営みに係る見方・考え方を児童にわかりやすい言葉で投げかけることによって実践的・体験的な活動を行うことができるよう配慮されている。 「家族・家庭生活」の内容では、ガイダンスで成長の振り返りとこれからの学習で何を目標として学んでいくかの道筋が分かるようになっている。また、すべての大題材で家族や家庭生活と結びつくように配慮されている。 「衣食住の生活」の内容では、第5学年でゆでる調理、ご飯、味噌汁の調理、第6学年で炒める調理が設定され、段階ごとに基礎的基本的な内容が身につけられるように設定されている。また、第5学年で五大栄養素のはたらきやだしの取り方の学習を行い、第6学年で栄養のバランスを考えながら一食分の献立をたて、計画して調理を行っている。「調理の技能」「朝ごはん」「栄養」「共食」を丁寧に扱い、食育を重視し食の内容が系統的に繰り返し学習できるように配慮されている。 「快適な衣服と住まい」の内容では、第5学年では手縫いとミシン縫いの基礎的・基本的な技能を身につけ、第6学年では目的に合った作品を製作して生活を豊かに出来るような配列になっている。季節に合わせた着方や洗濯では6学年の住生活で扱い、中学校の技術家庭と関連付け、衣服の手入れと片付けを取り上げている。 「消費生活・環境」の内容では、「持続可能な社会の構築」を消費者教育と合わせて一つの大きな題材で取り上げている。日常の生活における消費者としての基本的な知識や態度が身に付くように配慮されている。持続可能な社会を実現するために実践に結びつける視点を養えるように工夫している。 					
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 児童の主な活動を「活動○」として学びを深めるために必要な活動が、明確な指示と共に掲載されている。児童の発達段階に配慮し、日常生活に生かせる活動例や実習例を取り上げている。また、学習のポイントを示唆するようにし、内容を深く理解できるようにしている。 調理実習や製作実習における器具・用具の扱い方・作業上の安全・衛生面など安全に注意すべき点を丁寧に解説し「安全マーク」を配置して困りで注意を喚起するようにしている。 					
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容・実習内容ともに基礎基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列している。基礎技能の多くは5年で多く掲載されている。調理実習の手順やミシンの使い方などは5年生で学んだ内容を6年生で再度使うことで、より確実な定着が図れるようにしている。 こんろ、ミシン、調理器具等、機種の違いに応じた扱い方の記述があり各学校の実情に応じた指導ができるように配慮されている。 					
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 2年間の指導計画を見通せるような示し方であり、ストーリー性のある指導計画になっている。 日本の伝統マークを掲載し、伝統食品、郷土料理、伝統品などを記載している。 キャリア教育に対応し、勤労を重んずる態度を養うために、家庭科に関連した職業を取り上げ「プロに聞く」の囲みを示している。 基礎技能の確認として動画で「Dマーク」で示し、デジタルコンテンツが利用できるようになっていると共に、巻末の「いつも確かめよう」で基礎技能の確認ができ、右利き、左利きの両方の写真を掲載し、利き手に関わらず理解できるように工夫されている。 					

					種 目	家 庭
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5・6年		開隆堂出版 株式会社
/				家庭502 小学校 わたしたちの家庭科 5・6		
観 点	調 査 の 結 果					
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨が明確に整理され、個に応じた創意ある学習活動が展開できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、題材を「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで構成し、「支えられている自分」から「できるようになる自分」へと成長できるよう工夫されている。また、生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点を示し、意識しながら実践的・体験的活動ができるよう配慮されている。 ・ガイダンスでは、第4学年までの学習を振り返り、家庭科との関連に気付き、2年間の学習の見通しがもてるよう配慮されている。 ・「家族・家庭生活」の内容では、幼児又は低学年の児童、高齢者など異なる世代の人々との関わり、地域の中で生活する視点で題材が構成されている。また、生活の課題と実践については、「レッツ トライ」として課題例が複数紹介されており、児童が家庭や地域で実践しやすいよう配慮されている。 ・「衣食住の生活」の衣生活の内容において、第5学年で手縫いやミシンを使った簡単な物の製作を通して、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、第6学年で生活を豊かにするための布を用いた製作として、物を入れるための袋を扱うなど、段階的に題材が組まれている。食生活の内容においては、食事の役割について考え、調理の基礎を習得し、栄養を考えた食事の献立を立てられるよう、ステップアップしながら学習が進められるよう配慮されている。住生活においては、第5学年で身の回りの整理整頓、暖かい住まい方を扱い、第6学年で掃除の必要性や掃除の仕方、涼しい住まい方を扱う。問題解決的な学習で身に付けられるよう配慮されている。また、衣食住の各題材で伝統的な生活文化が取り上げられ、児童が生活する地域との関わりや先人の知恵から学べるよう工夫されている。 ・「消費生活・環境」の内容では、第5各年で買い物の仕組みや消費者としての役割、第6学年で環境に配慮した生活を扱い、課題をもって活動し、よりよい生活を考えられるよう工夫されている。また、消費者教育は2学年を通してほかの題材の中でも学習内容と関連付けて取り扱い、消費者としての実践的態度が身に付けられるよう工夫されている。 					
2 程度・ 選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・図・表・写真等で学習の進め方を示し、見通しをもてるよう配慮されている。また、題材の導入でフォトランゲージの手法を用いて、興味関心をもって取り組めるようにし、個々の技能レベルに合わせた教材を選択したりできるように工夫されている。 ・実践のステップや課題例が複数掲載されており、実践のイメージをもちやすいよう工夫されている。「チャレンジコーナー」を学期のまとめりに配置することで、学習したことを長期休業中に取り組めるように工夫されている。 ・安全を具体的な行動で示す特設ページを設けるとともに、実習時以外にも安全に気を付ける場面で「安全マーク」を示す配慮がされている。 					
3 組織・ 配列・分量 について	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容を5年生で、創意工夫を図れる内容を6年生で学習できるような内容構成が工夫され、ストーリー性を重視した構成で、生活を見つめ直し、生活をよりよくしていこうとする学習展開ができるように配慮されている。中学校での学習につながるページを設定し、成果を実感したり学習の継続を意識したりできるように工夫されている。 ・他教科と関連する内容を示し、教科や学年、内容を明記することにより、身に付いた知識・技能を活用できるよう配慮されている。 ・こんろ（ガス・IHクッキングヒーター）、ガスこんろの点火の仕方、フライパン等の種類や機種の違いに応じた扱い方についての記述があり、各学校の実情に応じた指導ができるように記載されている。 					
4 本書の特 徴点につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・左利きの児童の作業の仕方を写真を用いて示すとともに、動画で確認できるよう工夫され、ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されている。 ・ページ下の余白に「ひとロメモ」欄を設け、関連する情報を掲載することにより、多くの情報に触れられるよう配慮されている。 ・防災に生かせる情報を「防災マーク」で示し、防災意識を高められるように配慮されている。 ・学習内容と関わる職業人を紹介することにより、仕事への興味をもてるよう工夫されている。 ・QRコードで、画動・画像・クイズ形式の振り返り等が表示され、学習内容を確認できるよう工夫されている。 ・家電製品の中のプログラミング、生活に生かすプログラミングを掲載し、プログラミング教育の視点から生活を考えられるよう配慮されている。 					

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

保 健

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

種 目						保 健
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍 株式会社
保健301 新しいほけん3・4		保健501 新しい保健5・6				
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<p>「けんこうな生活」(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気な生活を送る様子と元気のない生活を送る様子をイラストで対比させ、健康に過ごすには食事、運動、休養・睡眠等のバランスのとれた生活が大切であることが理解しやすい内容となっている。 手洗いや歯磨きなど基本的な生活習慣についてチェック欄を設けて一日を振り返らせたり、「実験」コーナーで手に付いた菌の増加について写真で示したりして、健康によい生活の仕方を考えさせる内容となっている。 <p>「体の成長とわたし」(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児のくつ、手形の写真が実寸大で掲載されており、自分の成長がとらえやすいとともに、単元を通して意欲的に学習できるような工夫がされている。 身長の伸びを確かめる活動では、児童が作業しやすいよう、例が掲載されている。 「思春期にあらわれる変化」について、年齢や男女の体つきの違いが写真やイラストで掲載されているため、変化の違いが児童にとってわかりやすい。また、キャラクターが話している言葉や本文でも個人差について配慮されている。 <p>「心の健康」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストと文章を組み合わせた資料を用いて児童の身近な生活場면을提示することにより、自身の生活をふり返りながら学習を理解できる内容となっている。 年齢と共に変化してきた「人との関わり」についてイラストで示され、幼少期と5年生の対応の仕方の違いを考えさせ、児童が主体的に心の発達についてとらえやすい流れとなっている。 心の健康を保つための生活や対処方法について、自分の生活をふり返りながら自分にとって効果がありそうな対処の方法を考えることで、不安や悩みへの対処の仕方の理解が深められるようになっている。 <p>「けがの防止」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校生活における事故」「地域でのけが」「交通事故」等のイラストから事故が起こりそうな場面を見つける作業を通して話し合いができ、けがや事故の発生原因や防止について理解できるようになっている。 けがや事故、犯罪被害のグラフが掲載されており、児童の事故防止への意識を高めることが期待できる。 けがの手当についてイラストと文章を効果的に提示することにより、手当の仕方が正しく理解できるようになっている。 <p>「病気の予防」(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の要因について大きく4つの項目に分けて示されており、病原体がどのように体に入ってくるのかの写真やイラストつきで解説されているため、児童にとって理解しやすい内容となっている。 喫煙を禁止する看板、飲酒運転を防ぐポスターを小単元の初めにのせてあり、児童がなぜいけないのかを考えながら学習できる展開となっている。 				
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題が明確に示されているため、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。 学習内容に合わせて活用できる書き込み欄があり、児童が主体的に学習し、自分の考えを深めることができるよう工夫されている。 「解説」「まめちしき」のコーナーでは、児童が学習の理解を深めるための言葉の詳しい解説や補足情報が十分に示されている。 わかりやすいレイアウトや親しみやすい絵、写真を取り上げ、学習に意欲的、主体的に取り組めるように配慮されている。 発達段階に応じ、ポイントを明確にした理解しやすい図が使われている。 				

<p>3 組織・配列・分量について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な組織、配列となっている。各単元とも課題が明確になっていて、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」「学習を振り返ろう」など学習のしかたを明示して展開されているので、学習の見通しが立てやすくなっている。 ・学習内容に合わせて、他学年とのつながり、他教科とのつながりが示されている。 ・3、4年は45ページ、5、6年は81ページにまとめられている。
<p>4 本書の特徴点について</p>	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小單元ごとに課題解決型の学習展開となっており、「気づき」から「学習の振り返り」まで学習の流れが明確に示されていることで、指導者、児童の双方にとってわかりやすい構成になっている。 ・大単元の最後に、「学習を振り返ろう」のコーナーがあり理解を深めることが期待できる。 ・内容に合わせて、学習内容を補う資料や、実験内容、補足情報などの様々な情報が取捨選択できるようになっており、効果的に学習が進められるようになっている。 ・インターネットを活用した学習ができるようにコンテンツが設けられており、単元に合わせて活用できるようになっている。 <p>(3・4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健学習のはじめに自身の健康について考えさせ、学習の見通しをもてるようになっている。(p1) ・1日の生活を考える場面では、規則正しい生活をしている例と生活のリズムが崩れている例が同じ観点で示され、自分の生活を振り返り、健康を保持増進させるための生活のしかたを考えられるよう配慮されている。(p12～13) ・「体の成長とわたし」の導入では、生後11か月の実寸大の手形と靴が写真で掲載されており、児童が視覚的に自分の成長を実感できるよう工夫されている。(p24～25) <p>(5・6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心」の状態を提示して「体」のことを考えさせるだけでなく、「体」の状態を提示して「心」のことも考えられるようになっており、心と体は相互に影響し合っていることを、児童が実感できるよう配慮されている。(p9～11) ・写真やイラストで、その人物の表情により心の状態が視覚的に捉えることができるよう配慮されている。(p4～19) ・「けがの防止」の導入で提示されているけがや事故を起こしそうな場面のイラストが、次時以降の学習でも取り上げられており、児童が継続して課題に取り組めるよう構成が工夫されている。(p20～37) ・喫煙・飲酒・薬物乱用の害について、写真やイラストで示されており、具体的な害をイメージしやすくなっている。(p63～74)

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	大日本図書 株式会社	
保健302 たのしいほけん3・4年		保健502 たのしい保健5・6年					
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<p>「毎日の生活とけんこう（3年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や考え、わかったことなどを記述させながらこれまでの生活について振り返らせ、自分の健康が様々な事柄と結びついていることを理解できる内容となっている。 <p>「育ちゆく体とわたし（4年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の成長の仕方や個人差についてイラストやグラフで比較したり、児童の体験談などをのせたりして、理解しやすい内容になっている。 <p>「心の健康（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な生活場面を示し、心のはたらきが日々の生活や人との関わりの中で発達することを理解しやすい内容になっている。 <p>「けがの防止（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童にとって身近な生活場面をイラストで示し、交通事故やけがの原因を理解し、けがの防止の仕方を考えながら学習できる内容になっている。 危険予測や安全な行動について考えたり話合ったりしながら記述することができ、思考を深めることができる内容になっている。 <p>「病気の予防（6年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の予防の仕方について考えるために、自分の生活を振り返りながら、イラストを交えることでどのような生活をする必要があるのか理解しやすくなっている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入部分に、学習課題に合わせた学校生活等の場面が提示されており、児童が自分の生活をふり振り返りながら興味・関心が高まるよう工夫されている。 シールを使って取り組む課題が設定されており、児童の興味関心が高まるよう工夫されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> 適切な組織、配列となっている。単位時間ごとの基本的な内容が見開き2ページまたは4ページに集約されており、見やすく、教師も進めやすい分量である。 心の健康を保つために、学習指導要領体育科A体づくりの運動の中の体ほぐしの運動を紹介している。（5・6年P13） 3、4年は37ページ、5、6年は57ページにまとめられている。 					
4 本書の特徴点 について		<p>（全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の欄外に「ミニちしき」の欄があり、児童の生活の改善や学習内容の理解に役立つ内容となっている。 「学年ごとのまとめ」では、学習内容をふり振り返りながら、学んだ知識を今後の生活に生かすことができるような内容になっている。 内容に合わせて、学習内容を補う資料や、実験内容、補足情報などの様々な情報が取捨選択できるようになっており、効果的に学習が進められるようになっている。 インターネットを活用した学習ができるようにコンテンツが設けられており、単元に合わせて活用できるようになっている。 <p>（3・4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入で1日の生活をふり振り返らせることで、自分の健康を保つための学習課題へつなげることができるようになっている。（P10、11） 小単元の学習内容に合わせて、自分の生活をふり振り返るチェック項目が設定されており、自分の生活とリンクさせながら学習に取り組めるようになっている。 <p>（5・6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい」では、児童の体験や悩みが載せられており、悩みごとの対処方法が具体的に示されていることで、自分に合った対象方法を考えることができる。また、同じ悩みを抱えている児童がいることや、人によって様々な悩みがあることを理解できるようになっている。（P14～15） 					

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 文教社	
		保健303 わたしたちのほけん3・4年		保健503 わたしたちの保健5・6年			
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<p>「毎日の生活とけんこう」（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今の自分に当てはまるものに○をつけよう」など、簡単なチェック欄や表が多くあり、自分自身をふり返り、自分の課題として考えやすい内容になっている。 <p>「体の発育・発達」（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体の発育、発達について、その変化の様子や個人差についての体験談が多くあり、児童の不安を軽減する意味でも児童の立場にたった内容になっている。 <p>「心の健康」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心は「感情」「社会性」「思考力」が関わり合っていること、様々な生活経験や学習を通して発達していくことが図やイラストで示されており、分かりやすい内容となっている。 ・「相談のしかた受け方」という内容が紹介されており、一人一人の児童の実践の手助けとなる内容となっている。 <p>「けがの防止」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがの原因は行動と環境が関わっていることと、安全に過ごすためにはどうしたらよいか豊富な資料やイラストをもとに示されている。けがに直面したときの対処の仕方もポイントがわかりやすくまとめられている。 <p>「病気の予防」（6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症や生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用の害について、図や写真等の豊富な資料が示され、理解しやすい内容となっている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に記入できるチェック欄が多く設けてあり、児童が取り組みやすい構成になっている。 ・「もっとくわしく!」「もっと知りたい!」というコーナーがあり、身近な場面に即して考えることができるようになっている。 ・「発展」「情報コーナー」など、関連した発展的内容が分かりやすくまとまっている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・単元の配列は適切であり、学習活動に①、②…という番号と「ふり返ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「新しい自分にレベルアップ」などの具体的な活動内容が示されていて学習に取り組みやすいようになっている。 ・イラストや写真等の資料が大きくゆとりをもって示されている。 ・3、4年は33ページ、5、6年は53ページにまとめられている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れの明示はないが、その分シンプルで分かりやすい導入となっている。 ・脚注等に「ホームページにアクセス」とQRコードが示され、調べやすいつくりになっている。 ・発展の内容が他教科の内容と関連づけられており、相互に学習を深めることができる。 					

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 光文書院	
		保健 304 小学ほけん 3・4年		保健 504 小学保健 5・6年			
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<p>「けんこうな生活」(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康的かつ衛生的な生活を送るためのポイントが明示されており、図やイラスト等の資料に基づいて考えていくことで望ましい生活習慣について学んでいける内容となっている。 <p>「体の発育と健康」(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の発達の仕方も含めて個人差があることや思春期の心身の変化を「体験談」等の資料を合わせて読むことで、体の発育・発達について不安を軽減しながら学ぶことができる内容となっている。 <p>「心の健康」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の発達は「感情」「社会性」「思考力」などと関わりあっていること、それらが様々な社会経験や学習から育まれていくことをおさえた内容になっている。 <p>「けがの防止」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な生活場面の中から、事故やけがの原因となる要素、危険予測などについて考えていくという「予防」の観点から思考を深められる。また、けがなどに直面した時、どうすればよいかの判断の仕方や手当の方法が明確に示されている。 <p>「病気の予防」(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な感染症や生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用等の害から健康を守るためにどうすればよいかを一つ一つ学べるつくりとなっている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 単元の配列が適切であり、本時の学習課題が明確に示されているため、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。 学習後に「広げよう深めよう」という資料やコラムのページを参照することで、関連した知識を得たり、深めたりすることができるようになっている。 分かりやすいレイアウトや豊富な写真、親しみやすいイラストや導入部の漫画など、児童の興味関心を高める工夫がされている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> 「はじめに」で学ぶことと自分のこれまでの生活との関わりを考え、学習課題にふれた後、解決に向けて「調べよう、考えよう、やってみよう、話し合おう」という学習活動をし「生かそう伝えよう」で自分の生活につなげていくという構成となっている。 示されている資料を参考に記入していくことで無理なく学習していくことができる。 3, 4年は41ページ、5, 6年は65ページにまとめられている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> 全体的に資料が豊富で見やすいつくりとなっている。学ぶ理由や学習の仕方が分かりやすく明示されている。 重要な語句は太字で強調されているので、基礎的な知識の習得につながりやすい。 参考資料としてQRコードを読み取るものが示されているため、拡大資料として活用しやすい。 					

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 学研教育みらい	
		保健305 みんなのほけん 3・4年		保健505 みんなの保健 5・6年			
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<p>「健康な生活」(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康とはどんな状態のことをいうのかを学習した上で、自己の生活リズムや衛生的な生活についてチェックできる内容になっている。よりよい生活の仕方について考え、生活リズムの改善につなげることができる。 <p>「体の発育・発達」(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身長の変化の様子についてのイラストでは、6才から18才までの身長の伸びの様子が分かりやすいように、折れ線が入っており、個人差について理解しやすい内容となっている。 男女の体の中の変化やよりよい発育に関する写真やイラスト、グラフが適切に用いられており、生活につなげられる内容となっている。 <p>「心の健康」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期と比較した思春期の心の変化についてイラストを用いてわかりやすく説明している。また、心と体が密接に関わっていることを自分の生活を振り返って確認し、不安や悩みに対する対処法を豊富に掲載して体育の授業との関連も深めている。 <p>「けがの防止」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故についてのグラフや校内でのけがにつながった場面の話をもとに、事故やけがの原因について考えることができるようになっている。地域での事故やけがを防ぐための工夫や努力、行動の仕方について知り、地域の一員としてとれる行動についても考えることができる。 <p>「病気の予防」(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病原体によって起こる病気や生活の仕方によって起こる病気について、病気ごとに症状や起こり方を示しており、理解しやすい内容である。また、喫煙、飲酒、薬物による害については写真等を用いたより詳しい内容であり、児童の理解を深めるとともに、心に強くうったえる内容となっている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 単元の配列は適切であり、本時の学習課題が「ここで学ぶこと」として明確に示されているため、児童がめあてをもって主体的に学習に取り組めるようになっている。 発展のページが充実しており、児童が身近な問題として捉え、意欲的に学習に取り組めるよう工夫されている。 発達段階に合わせて、文字の大きさやイラストが配慮され、児童が理解しやすいよう工夫されている。 実習のページでは、心と体のバランスを保つためのストレッチなど、具体的な解決方法が身に付けられるようになっている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 適切な組織、配列となっている。単位時間ごとの内容につながりがあり、学習をスムーズに進められる。 学習のまとめでは、「学習をふり返る」だけでなく、「学びを深める」「明日につなげる」という欄が設けられており、これからの生活の改善を意識できるよう構成が工夫されている。 3、4年は37ページ、5、6年は57ページにまとめられている。 						
4 本書の特徴点について	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活を守ることについて、養護教諭や学校医の話など様々な立場からのアドバイスやコメントが書かれており、児童が多くの人々に支えられていることを感じられる内容となっている。 イラストの表情が豊かで、気持ちが想像しやすい。 <p>(3・4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手や頭皮の写真を、清潔な場合とそうでない場合で比較しており、児童に視覚的にとらえやすい内容となっている。(P12) 男女の成長の仕方のちがいについての体験談が掲載されており、個人差に対する児童の不安をやわらげる工夫がされている。(P24～29) <p>(5・6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 思春期の児童の自己肯定感を高められるよう、実習を通して友達に記入してもらいながら、自分の良さに気付ける活動がある。(P9) 児童にとって身近な生活場面をイラストで示し、自己の生活を振り返りながら、周囲の人とのよりよいかかわり方について考えることができる内容となっている。 						

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

英 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種目	英語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
5年	5・6年		6年	東京書籍 株式会社
英語501 NEW HORIZON Elementary English Course 5	英語502 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary	英語601 NEW HORIZON Elementary English Course 6		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊「Picture Dictionary」をヒントにしながら、既習事項を組み合わせて、発信型の言語活動(発表)に自信をもって取り組めるよう工夫されている。「Your turn」のコーナーでは、メインキャラクターの吹き出しに、その単元の最重要ターゲットが吹き出されていて、話すこと(やりとり)がスムーズにできるよう配慮されている。 ・5領域アイコン(聞く・話す(やりとり)・話す(発表)・読む・書く)で、どの技能を重点的に学ぶかが明確にされている。 ・各単元で音と文字をつなげる学習ができるように「Sound and Letter」のコーナーが配置されている。また、巻末に文字の書き方やアクセントを練習できるページがあり、文字や音声をしっかり学べる構成になっている。 ・言語の使用場面を重視した内容になっている。各ページに使用場面を意識した「Small talk」が入っており、実際のコミュニケーションにおいて活用できるよう配慮されている。 ・各単元の最後に「Over the Horizon」というページが設定され、世界や日本の文化について紹介されている。世界のことについて知り、考えるとともに、日本についても様々な角度から考えることができるよう配慮されている。 ・平和や国際理解に目を向けたページがあり、児童に大切なことを考えさせるよう工夫されている。 ・各単元の最後に「Enjoy Communication」のコーナーが見開きで位置づけられていて、児童が見通しをもち、主体的に言語活動に取り組むことができるよう配慮されている。 ・単語カードだけでなく、活動に活用できる交流カードがあり、コミュニケーション活動を充実させるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年では、日本で活躍する外国人の視点を通して日本のよさを海外に発信する内容、第6学年では、世界の旅の案内を聞く内容などを扱い、児童が感心をもてるよう工夫されている。 ・世界の学校の様子や英語を使う仕事など、異文化に触れ、児童の興味・関心を世界に広げるよう工夫されている。 ・聞き取ったことを線で結んだり、単語を書いたりドリル学習できるページが配置されている。 ・「学び方見つけた!」のコーナーでは、発展的な学習として、文の構成や音の強弱などを取り上げており、気付きを促すよう配慮されている。 ・単元ごとにある「Over the Horizon」では、学んだ英語を基に、他教科と関連した情報に触れ、発展的な学習につながるよう工夫されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての単元が「目標」と「流れ」を明確化したスモールステップの4パートで構成されている。 ・「Let's try!」で慣れ親しんだ言語材料を各単元の導入の音声で振り返り、中学年からの円滑な接続が図られている。 ・日本の伝統文化や科学的な話題など、幅広い題材が扱われており、他教科との関連が図られるように配慮されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・新ユニバーサルデザイン書体を使用し、4線付フォントデータも指導書に付属されている。 ・デジタルコンテンツには教科書のストーリーを実写化した映像や、活動の手順が示されている。 ・デジタルブックや各種教材とは別にQRコード・URLからもコンテンツにアクセスでき、映像と音声を選べるように設定されている。 ・別冊「Picture Dictionary」では、本体と別冊を組み合わせた効果的な指導ができるよう配慮されている。また、中学年で扱われる言語活動の復習としても使用できるよう配慮され、2年間通して使用できる。 			

種 目						英 語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	開隆堂出版 株式会社
				英語503 Junior Sunshine5	英語603 Junior Sunshine6	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた知識や技能を、実際に使う場面を設定し、5領域が総合的に活用できるような活動が、複数の単元で取り入れられている。初めて聞く言語材料は、話す活動までに十分に慣れさせるよう配慮されている。 ・目的や場面・状況が意識しやすい身近な題材を用いることで、子どもたちが興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。また、身に付けた知識・技能を活用する「Project」が、年間2回設定され、言語活動が充実するよう配慮されている。 ・第5学年の話題は、日本を中心にし、第6学年は世界に範囲を広めて、お互いの伝統文化を知るようにすることで、自国文化や異文化への理解を深め、他国を尊重し、国際社会の発展へ寄与する態度を養えるよう工夫されている。 ・統合型の言語活動である「Project」では、学習したことを活用して、児童が主体となって友達と協力しながら伝え合う活動を行うことができるよう工夫されている。また、複数の単元に置いてつながりのある学習の振り返りができることで、学びが深まるよう配慮されている。 				
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・「Let's watch and think」では、海外と日本を比較する内容のデジタル教材を用いて話題を提供しており、児童の関心を高め、気付きを促すよう工夫されている。 ・発展的な学習として、「チャレンジ」があり、学習したことを活用して、創作したり考えを発表したりする活動が取り上げられている。 				
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年の冒頭で外国語活動の学習内容を復習することで、中学年からの円滑な接続が図られている。また、中学校に向けて、第6学年の巻末で「語順」、「過去形」、「単数形・複数形」、「外来語」の四つの項目が取り上げられている。 				
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・読むことや書くことの困難を軽減するよう、独自のフォントや、上下幅が4：5：4の4線が使用されている。 ・音声や動画だけでなくゲームコンテンツがあり、教科書のQRコードから、学校でも家庭でも、スマートフォンやパソコンで簡単に利用できるよう工夫されている。 				

令和2年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

種 目						英語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書 株式会社
				英語504 JUNIOR TOTAL ENGLISH 1	英語604 JUNIOR TOTAL ENGLISH 2	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・「Let's Listen」では、デジタル教材から聞くだけでなく、歌やチャンツなどを多用して聞く活動を十分に行ってから、読む活動や話す活動につなげるよう配置されている。 ・児童にとって身近な表現や語彙を取り上げ、英語しりとりなどで意欲的に語彙を身につけられるように配慮されている。 ・「Small talk」では、「Word List」の語も活用するように促しており、児童が主体的にコミュニケーションに取り組めるよう工夫されている。 				
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に既習事項やクラスルームイングリッシュが提示されていて、導入しやすいよう工夫されている。 ・各単元に英語の歌や物語があり、英語に親しめるよう工夫されている。 ・アルファベットの読み書きに親しめるようなパズルなどのワークシートが配置されている。 				
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・4技能をバランスよく身につけられるよう、5年生Lesson1から4技能5領域を用いた言語活動が入るよう工夫されている。 ・第5学年では、より多くのインプットの活動が取り入れられており、第6学年では、第5学年に比べてアウトプットの機会が多く配置されている。 ・キャリア教育、道徳教育、環境教育等、幅広い分野との関連が図られている。 				
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・単元の始めに、レッスンの目標と学習の進め方が記載されている。 ・QRコードによりタブレット等で、各目標表現等を聞くことができ、定着を図るよう工夫されている。 ・巻末付録が工夫されている。（アルファベットの練習コーナー、「Word List」、「Song for Lessons」） 				

種 目						英語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 三省堂
				英語505 CROWN Jr. 5	英語605 CROWN Jr. 6	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の中で5領域がカバーされている。 ・ 自分自身に関すること、身近なことからグローバルなことまで幅広い話題が扱われている。 ・ 学期に1回、「Jump Presentation」でグループでの発表が位置づけられ、学習してきた知識及び技能を統合的に活用する資質・能力が身につくように工夫されている。 				
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元をまたいで継続して楽しめる物語があり、知っている話を英語で楽しめるだけでなく、前単元の想起にもつながるよう工夫されている。 ・ 単元内に、複数回聞く活動があり、単元末にはインプットしたことを書いたり話したりと、自然にアウトプットできるように工夫されている。 ・ ことばや文化に関する各種コラムで、英語を学ぶことの意味や面白さへの気づきを促すよう工夫されている。 				
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 三つの大単元を設定し、「HOP（学習の見通し）」「STEP（知識・技能の習得）」「JUMP（実際の場面での活用）」の順で構成されている。 ・ 中学校への円滑な連携が図れるよう、プロジェクト型の言語活動が工夫されている。 ・ ことば、日本の伝統文化、異文化、自然理解、キャリア教育等、幅広い題材を取り上げ、他教科との関連が図られている。 				
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・ カラーユニバーサルデザインの配慮がある。色だけでなく、形、記号、番号、文字等で補足されている。 ・ デジタル教材には、やりとりや発表等のモデル動画や外国の生活・文化等の資料動画などが収録されている。 ・ QRコードをデジタル機器で読み込むことで単語や文の音声が入るよう設定されている。 				

						種目	英語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社	
				英語506 ONE WORLD Smiles 5	英語606 ONE WORLD Smiles 6		
観点	調査の結果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「Read and Write」では、書く例が示され、同じ形式のワークシートが巻末に用意されているので、容易に書くことができ、表現活動に意欲的に取り組めるように配慮されている。 ・「Sounds and Letters」でカタカナ語と英語の違いに気付き、英語独特の音声を学べるように配慮されている。英文を色分けし、文構造が分かりやすく学べるようになっている。 ・学校生活の中で使用されている活動やテーマが多く取り入れられ、言語活動が充実するよう配慮されている。また、学級づくりや仲間との協力などで実際に英語を使う場面が設定されるなど、言語活動が工夫されている。 ・「Look and the World」で世界の様子や絶滅危惧種の動物をあげ、世界に目を向けて共感したり国際協調の精神を育んだりするような活動が取り入れられている。自分の住む地域や日本のよさを友達や世界に発信する活動が取り入れられ、対話的で深い学びが実現されるよう工夫されている。 ・映像を見る活動から入り、順序を踏んで表現活動へつながるという単元の流れが明確に設定されている。 ・単元の始めに目標が明示され、児童が活動の見通しを立てたり、自分がどんな活動をしていきたいかを考えたりすることができるよう工夫されている。 ・学習したことを生かして発表したり伝え合ったりする活動が設定されており、付属のワークシートを用いることで活動しやすいよう配慮されている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、第5学年は、絵が中心で想像を膨らませやすいものが多く、第6学年は、写真が中心で実生活に近いテーマが取り上げられている。 ・「Read and Act」では、物語や音声を聞いて、話の流れを追うことで、学習したことを「読む」、「聞く」ことから振り返ることができるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの大まかな流れが、映像を見て概要をとらえ、聞いて、慣れ親しむ活動から、徐々に表現活動へとつなげる構成に統一されるよう工夫されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・4線の上下幅は、4：5：4の4線となっていて、書くことへの困難を軽減するよう配慮されている。 ・「My Word Bank」の語彙が豊富で、児童が参考にして文字を書き写したり、他に見つけた言葉を書いて、語彙の拡充を図ったりすることができるように工夫されている。 ・動画や音声の教材が豊富で、授業で扱う動画の一部や音声をウェブサイト視聴できるよう工夫されている。 						

教科用図書の記号・番号・名称						種目	英語	発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年			
				英語 507 Here We Go!5	英語 607 Here We Go!5			光村図書出版 株式会社
観 点		調 査 の 結 果						
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の「Step」のページでは、インプットからアウトプットの流れが、スモールステップで設定されている。 相手意識を育む「Response」が30カ所掲載されていて、自然なコミュニケーションを続けるのに必要な語彙力を身につけられるよう工夫されている。 各単元の「World Tour」では、単元の題材に関連して、国際理解を深めることができるよう配慮されている。 						
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 世界で活躍する日本人や、海外の子どもの様子を取り上げられることにより、児童の興味を引くよう工夫されている。 学習したことを、国際理解教育として発展的に学べるよう配慮されている。 世界で活躍する日本人などが紹介されていて、世界への関心が高まるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ゴールへの流れが一目で見えるような単元構成になっている。 教材が平易なものから段階的に難易度が高くなるよう配列され、全体で系統性が考慮されている。 他教科で学んだことを生かせる活動を設定し、児童の意識の高まりと活動内容の充実が図れるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、4線の工夫や、フォントの開発など、読むことや書くことの困難を軽減するよう配慮されている。 巻末に絵辞典、カード、繰り返し使えるペンマンシップカードなど数多くの付録教材あり、参考にしながら学びを進められるよう工夫されている。 QRコードをデジタル機器で読み込むことで単語や文の音声聞けるように設定されている。 						

令和2年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

						種目	英語
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 新興出版社 啓林館	
				英語 508 Blue Sky 5	英語 608 Blue Sky 6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールだけでなく、各ページにもゴールが示されており、身につけるべきことが分かりやすいよう配慮されている。 ・キーセンテンスには、アクセントマークや抑揚を表す矢印が記されており、発音しやすいよう配慮されている。 ・聞いて考える活動を重視することで、充実した対話的な活動にスムーズに結びつけるよう配慮している。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・「Let's Read and Write」では、音声を聞いて、音に注意しながら単語を聞くなど、音声と言葉を関連付けるよう工夫されている。 ・「What's This?」のコラムに、異文化に触れられる画像や科学につながる画像が掲載されており、児童の興味・関心を引くよう工夫されている。 ・「Challenge」では、発展的な学習として、聞き取り問題が設定されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・聞く活動をすべての基板としており、インプットを重視するよう配慮されている。 ・第5学年から第6学年にかけて、徐々に文字を読んだり書いたりする学習活動を増やし、中学校での学習にスムーズにつながるよう配慮されている。 ・各教科で使用する道具を紹介するコーナーがあり、学んだ語彙を他教科の学習時に使用することで、定着を促すことができるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが採用され、視認性・可読性が高められている。 ・イラストや写真を効果的に掲載することで、理解を助けるよう配慮されている。 ・QRコードをデジタル機器で読み込むことで単語や文の音声聞けるよう設定されている。 					

令和 2 年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

道 徳

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

種 目						道 徳
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍 株式会社
道徳101 新訂あたらしい どうとく1	道徳201 新訂 新しい どうとく2	道徳301 新訂 新しい どうとく3	道徳401 新訂 新しい どうとく4	道徳501 新訂 新しい 道徳5	道徳601 新訂 新しい 道徳6	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせ、内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA54、B47、C65、D43の教材で構成されている。 ・防災・安全、国際理解、食育、キャリア教育、オリンピック・パラリンピックなど、現代的な課題を扱った指導ができるよう工夫されている。 ・1時間の授業のステップが「気づく」、「考える 話し合う」、「振り返る 見つめる」、「生かす」で統一されている。また、各学年とも「道徳の学習を進めるために」、「道徳の時間が始まるよ」で具体的に授業についてのオリエンテーションが行えるように配慮されている。 ・読み物教材とは異なった形式の教材を「活動型教材」として設定し、様々な活動の中で積極的に議論できるよう工夫されている。 				
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で重点内容項目を設定し、繰り返し学習することで学習を深められるよう工夫されている。 ・幼児教育や中等教育との関連が図られている。 ・各学年で問題解決的な学習を取り入れ、「問題を見つけて考える」、「考えるステップ」のページ設定がされており、問題提起や話し合いの流れが示され、問題解決的な学習ができるように工夫されている。 				
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、導入教材、本編教材、付録という形で構成されており、教科書全体を通じて道徳性を養えるように配慮されている。 ・いじめ問題については、三つの要素からなるユニット式の教材になっており、いじめのない社会に向けて、考えを深めるために、異なった内容項目の教材を2時間連続で学習できるように工夫されている。 ・中学年以上の読み物教材にそれぞれ掲載されている「つながる・広がる」では各教科等との関連が図られている。 				
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを捉えやすくするために工夫された改行位置、学習する上で大事なことを目立たせる囲み、イラストでの説明、漫画形式での教材掲載など、インクルーシブ教育の観点から配慮がされている。 ・巻末には学習の振り返りを行えるページが、発達の段階に応じて掲載されており、主体的な学びや評価にも活用できるよう工夫されている。 				

令和2年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

						種 目	道 徳		
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書 株式会社			
道徳102・103 かがやけみらいし ょうがっこうどう とく 1ねん き づき かがやけみらい しょうがっこう とく 1ねん ま なび	道徳202・203 かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 きづき かがやけみらい 小学校どうとく 2年 まなび	道徳302・303 かがやけみらい 小学校どうとく 3年 きづき かがやけみらい 小学校どうとく 3年 まなび	道徳402・403 かがやけみらい 小学校道徳 4年 きづき かがやけみらい 小学校道徳 4年 まなび	道徳502・503 かがやけみらい 小学校道徳 5年 きづき かがやけみらい 小学校道徳 5年 まなび	道徳602・603 かがやけみらい 小学校道徳 6年 きづき かがやけみらい 小学校道徳 6年 まなび				
観 点	調 査 の 結 果								
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて、四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA58、B46、C59、D36の教材で構成されている。 ・「いじめ問題」、「情報モラル教育」、「キャリア教育」、「国際理解教育」「持続可能な発展」、「防災教育」「オリンピック・パラリンピック」など多様な現代的課題に対応するよう配慮されている。 ・「まなび」は内容項目ごとに、見開きでユニット構成され、右ページの「こころのパレット」で道徳的課題の発見をし、左ページで自分の考えや友達の考えを記録して、対話によって自分の考えを深められるよう配慮されている。 ・「やってみよう」、「かんがえよう」、「みつめよう」で主体的に考えたり話し合ったりすることで深く学べるよう工夫されている。 								
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・生活において児童に起こりうる身近な課題と教材が結びついており、発達の段階に合わせて写真や詩を扱った資料を取り上げ、児童の実態に合うように配慮されている。 ・「きづき」や「まなび」には、学年に応じた学習方法が具体的に示されている。 ・「きづき」には教材文、「まなび」には発問や主題名を分けて掲載し、「やってみよう」では、役割演技を取り入れ、児童が問題解決できるよう工夫されている。 								
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの内容項目に対する教材は、一つか二つ取り上げられ、全ての内容項目が調和的に関わり合いながら、児童の道徳性が養われるように配慮されている。 ・学級経営の視点を取り入れた「ともに生きる」マークのある教材が計画的に配置され、いじめや周りの人との関係について学びを深めることができるよう工夫されている。 ・学校行事や学校での生活を題材にした教材や他教科と関連する題材が配されており、児童が自身の体験と重ねながら道徳的価値に気付くよう配慮されている。 								
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・視点ごとに色分けされたマークが使用され、色とデザインの双方から判別できるよう配慮されている。 ・「まなび」では視点ごとにページが色分けされ、中綴じになっており、書き込みやすいよう配慮されている。 ・「きづき」と「まなび」の二分冊になっており、「きづき」で教材をもとに課題や自己との関わりに気づき、「まなび」で考え議論し、深め合うことができるよう工夫されている。 ・学年配当漢字にはすべてふり仮名が付けられ、「読む」ことへの負担軽減が図られ、「考える」ことが学習の中心になるよう工夫されている。 								

						種 目	特別の教科 道徳		
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社			
道徳104 小学どうとく1 はばたこうあすへ	道徳204 小学どうとく2 はばたこう明日へ	道徳304 小学どうとく3 はばたこう明日へ	道徳404 小学道徳4 はばたこう明日へ	道徳504 小学道徳5 はばたこう明日へ	道徳604 小学道徳6 はばたこう明日へ				
観 点	調 査 の 結 果								
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。 ・今日的な課題に向き合える多様な教材を取り入れ、身近な話題を取り上げることで、自分自身の問題として考えを深められるよう配慮されている。 ・全学年の教科書巻頭の道徳開きで学習の流れがイメージできるようになっており、主体的な学びにつながるよう工夫されている。 								
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた、様々なジャンルから教材を厳選し、児童が関心をもって学習に取り組めるような配慮がされている。 ・導入やまとめの場面で、キャラクターが身近に感じられる言葉で学びをナビゲートしており、関心や意欲を高めながら学べるよう配慮されている。 ・言語活動や問題解決的な学習が展開できるような「学びの手引き」や、体験的な学習を取り入れた「やってみよう」というページが設定され、充実した学習が展開できるよう工夫されている。 								
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりのある分量の構成となっている。どの内容項目もバランスよく取り上げられており、重点項目を計画的に指導できるように配慮されている。 ・各学年で同一主題ごとに資料がまとめられており、多面的・多角的に考えられるように配慮されている。 ・日常生活や各教科等でさらに理解が深まるよう、他教科等との関連を図ることができるよう配慮されている。 								
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインにより、全ての児童が見分けやすい色合いとなるよう配慮されている。 ・高学年の教材文には、下段に言葉の注釈があり、読むことへの抵抗を少なくする配慮がされている。 ・「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」に関する教材を多数取り上げ、身近な地域や我が国への理解と愛着を深められるよう配慮されている。 ・「まなびリンク」を活用することで、児童の興味・関心を高めたり、内容理解を助けたりできるよう工夫されている。 								

						種 目	特別な教科 道徳
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	光村図書出版 株式会社	
道徳105 どうとく1 きみが いちばんひかる とき	道徳205 どうとく2 きみが いちばんひかる とき	道徳305 どうとく3 きみが いちばんひかる とき	道徳405 道徳4 きみが いちばんひかる とき	道徳505 道徳5 きみが いちばんひかる とき	道徳605 道徳6 きみが いちばんひかる とき		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通し、A45, B52, C69, D33の教材で構成されている。 ・情報モラル、いじめ問題、環境、国際理解、福祉・共生等の現代的な課題については、「よびかけ+教材+コラム」を組み合わせた「ユニット」が設定され、課題にじっくり向き合えるよう工夫されている。 ・教科書の冒頭には、主体的に考え、話し合うことが道徳の授業であることを児童に示す「道徳の時間」が設けられており、考える道徳・議論する道徳の具現化が図れるよう配慮されている。 ・全学年を通して、教材の「学習の手引き」には、話し合うことを意図とした発問が用意されており、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考え、問題解決ができるよう配慮されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材だけでなく、視覚的に児童の興味・関心を喚起する漫画形式の教材、見開きの一枚絵や写真からなる教材など、多様な教材が位置づけられており、児童が教材に引き込まれ、自ら考えようとするための十分な配慮がされている。 ・各学年の児童の発達の段階や特性を考慮した教材選定が行われており、等身大の児童が登場する読み物、伝記などで知られる先人や、現在活躍する著名人の子供の頃の葛藤など、児童の心をとらえる教材の配置がバランスよく配慮されている。 ・発達の段階と教材に合わせて、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を織り交ぜながら、道徳的な価値の自覚を深められるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の実態と児童の1年間の成長を考慮して、年間を3つのまとまりに分け、学習指導要領に示されたABCDの視点がまとまりごとに配置されている。それぞれの視点に合わせて連続した学習が可能となるよう配慮されている。 ・内容項目が、6学年を通して、有機的に関連しあい、児童が6年間を通して考えを高められるように配慮されている。 ・教材末の「学習の手引き」に、他教科や学校行事等との関連が示されていることで、道徳での学びが、授業でとどまることなく、他教科や日常生活につながるよう工夫されている。 						
4 本書の 特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや配置、絵の色づかいや配置の他、枠組みを使ったデザイン処理などに心を配り、全ての児童が読みやすく、分かりやすい紙面となるよう配慮されている。 ・1年生では数字以外はひらがな表記、2年生から6年生では、当該学年の配当漢字に全てふりがなが付けられており、全学年を通して、読みの負担を軽減するよう配慮されている。 ・児童が自己評価の記録を残す場面（学びの記録）が、年間3カ所設定されている。児童の自己の振り返りや、教師の長期的な評価にも有効活用できる。 ・サイズがB5サイズで手に取りやすい。 ・全学年を通して、「みんな 生きてる みんなで 生きてる」の詩が掲載され、自分の命・他者の命・草木や動物の命・地球の命のすべてを大切にしたいという道徳教育の目標が端的につたわるように配慮されている。 						

						種 目	特別の教科 道徳
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本文教出版株式会社	
道徳106・107 しょうがくどうとく いきるちから1 しょうがくどうとく いきるちから1 どうとくノート	道徳206・207 小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2 どうとくノート	道徳306・307 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート	道徳406・407 小学道徳 生きる力 4 小学道徳 生きる力 4 道徳ノート	道徳506・507 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート	道徳606・607 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。 ・全学年とも、いじめ防止をテーマにしたユニット「人との関わり」は、この問題に対する心情や態度を重点的に養うことができるよう配慮されている。 ・別冊の「道徳ノート」には、自由記述欄が設けられ、多面的・多角的な学習ができるよう工夫されている。 ・「道徳の学び方」、「学習の手引き」は、学習方法が開設解説され、話し合い活動が写真で提示されるなど、主体的・対話的に学べるよう配慮されている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・複数教材でデジタルコンテンツが用意されており、児童が興味・関心を維持しつつ考えを膨らませられるよう配慮されている。 ・文学作品、スポーツ選手、芸術家など多岐にわたる教材とともに、児童に身近な生活場面なども取り上げられ、興味・関心を引き出すよう配慮されている。 ・「学習の手引き」のページでは、話し合い活動の進め方や体験的な学習が設定され、個々の考えを深められるように配慮されている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の授業時数分の教材と付録教材で構成されており、年間指導計画を検討する際に、選択の幅を広げることができるよう配慮がされている。 ・児童の発達段階を考慮した内容で、6年間を見通した系統的性が確保されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方、色使いなどレイアウトを工夫し、すべての児童が判読しやすくなるよう配慮されている。 ・カラーユニバーサルデザインにより、全ての児童が見やすい色合いとなるように配慮されている。 ・別冊の「道徳ノート」により児童の学習状況や道徳性の成長の様子を把握することができる。また、記録の蓄積により、評価や指導改善につながる。 						

						種 目	特別の教科 道徳
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 光文書院	
道徳108 しょうがくどうとく ゆたかなこころ 1年	道徳208 小学どうとく ゆたかなこころ 2年	道徳308 小学どうとく ゆたかな心 3年	道徳408 小学どうとく ゆたかな心 4年	道徳508 小学道徳 ゆたかな心 5年	道徳608 小学道徳 ゆたかな心 6年		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。生活の中での身近な場面を取り上げた教材が多く、自己の経験を振り返ったり、自己投影しながら考えたりしやすい教材が工夫されている。 ・いじめ問題や情報モラルなど現代的な課題に対する指導については、関連資料でも扱うことができ、年間を通して計画的に指導できるよう配慮されている。 ・下段に考えるためのポイントが吹き出しで示されており、一人一人が自分に置きかえて考え、話し合いにつなげていくことができるよう配慮されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、道徳の学び方や実生活への広げ方などが取り上げられている。内容項目ごとに発達段階に即した説明がされており、オリエンテーションが丁寧に行えるよう工夫されている。 ・親しみやすい漫画・アニメーション、実話に基づく教材やアスリートに学ぶ教材が取り入れられ、児童の興味・関心を引き出し、意欲が高められるよう配慮されている。 ・「みんなでやってみよう」コーナーでは、コミュニケーション能力を高められるようなスキルが紹介されており、円滑な人間関係が構築できるよう配慮されている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の重点主題については、複数の教材を続けて学習することで、道徳的価値の理解が深められるような工夫がなされている。 ・教材のあとに「コラム」が設けられており、教材で学んだ内容について、考えを深めたり実生活に広げたりできるような構成に工夫されている。 ・他教科の学習活動そのものを素材とした教材が掲載されており、日常生活や環境問題等との関わりを意識しながら学習ができるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの漢字を使用し、第1学年から第3学年には総ふりがなにしたり、単語をまとまりごとに捉えやすくなるように、可能などころでは文節改行を採用したりすることで、読みやすくなるよう配慮している。 ・栃木県に関する教材が充実しており、身近な教材を通して児童の関心を引き出せるよう配慮されている。 ・付録の教材を含め、各学年40の教材が用意され、学校の実態に合わせて重点項目を設定し、教材の選択ができるよう配慮されている。 						

						種 目	特別の教科道 徳
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名	
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	株式会社	
道徳109 新・みんなのどうとく1	道徳209 新・みんなのどうとく2	道徳309 新・みんなのどうとく3	道徳409 新・みんなの道徳4	道徳509 新・みんなの道徳5	道徳609 新・みんなの道徳6	学研教育みらい	
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA59, B52, C58, D40の教材で構成されている。 ・現代的な諸課題について各学年複数の教材を扱っている。情報モラルに関する指導では、情報の扱い方や情報を扱う際の配慮など、発達の段階に応じて考えを深められるよう配慮されている。 ・冒頭に主題名を記載しないことで、特定の価値観を押し付けることなく、また、問題意識「問い」をもって主体的に学びを深めることができるよう工夫されている。 ・異なる複数意見を取り上げて、多面的・多角的に考えさせたり、「考えよう」で、児童が考えを深め、自己を見つめられたりするよう配慮されている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて、児童が興味・関心をもちやすい魅力ある教材を選択配列し、児童の学習意欲を高め、理解を促すよう工夫されている。 ・2学年ごとに重点テーマを設け、内容項目の異なる、複数教材を組み合わせ「生き方」について広い視野に立って学習できるよう配慮されている。世界的に活躍しているスポーツ選手といった児童に馴染みのある人物や題材を多く取り上げ、児童の興味関心が高まるよう配慮されている。 ・学び方のページ「深めよう」において、問題解決的な学習の筋道提示したり、「やってみよう」において、教材の内容をもとに体験的な学習活動で考えを深めたりできるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において「いのちの教育」をテーマに複数の教材を連続して取り扱い、様々な内容項目から考えることができるよう工夫されている。 ・道徳の学び方を紹介するページ、道徳の学びの全体像をつかむページを巻頭に掲載し、一年間の見通しをもって学習をすすめることができるように配慮されている。 ・他教科等と関連する題材を取り入れ、道徳と各教科との関連を図りながら学習できるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・文字は大きく、全ての児童にとって読み違いを起こしにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・学年で学習する漢字や固有名詞にふりがなをつけるなど、漢字の学習状況にかかわらず、読み進めることができるように配慮している。 ・内容項目を視点ごとに色分けしたり、ひと目で取り組み方がわかるマークなどを使用して、効果的に学べるよう工夫されている。 ・全学年の表紙に掲載されている主人公が教材にも登場し、その人物に自らの成長を重ねながら、教材に向き合うことができるよう配慮されている。 						

						種 目	特別の教科 道徳
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	廣済堂あかつき株式会社	
道徳110・111 みんなでかんがえ、はなしあうしようがくせいのだうとく1 じぶんをみつめ、かんがえるのだうとくノート1	道徳210・211 みんなで考え、話し合う小学生のだうとく2 自分を見つめ、考えるのだうとくノート2	道徳310・311 みんなで考え、話し合う小学生のだうとく3 自分を見つめ、考えるのだうとくノート3	道徳410・411 みんなで考え、話し合う小学生の道徳4 自分を見つめ、考える道徳ノート4	道徳510・511 みんなで考え、話し合う小学生の道徳5 自分を見つめ、考える道徳ノート5	道徳610・611 みんなで考え、話し合う小学生の道徳6 自分を見つめ、考える道徳ノート6		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に応じて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。 ・「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」を重点項目とし、全学年で三つの教材を取り扱っている。児童の身近な内容を扱った教材が多く、また複数の教材を扱うことにより、多様な観点から理解を深めることができる。 ・低・中学年では健康教育、中学年では食育、高学年ではキャリア教育、福祉に関する教育の内容が多く取り上げられ、現代的な課題の扱いに配慮されている。 ・全学年において人権やいじめの問題に関する内容や情報モラルについての教材を取り扱っている。その他、現代的な課題に関する教材を多く扱っている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に応じた挿絵や写真が適切に用いられ、多様な考えがもてるように工夫されている。 ・学年ごとの成長を踏まえ、学年相応の教材を扱い、高学年では、より多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。 ・「考えよう 話し合おう」では、問題解決的な学習や体験的な学習の視点を踏まえた問いを示し、学習が進められるよう配慮されている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・内容項目がバランスよく学べるよう工夫されている。 ・重点項目に関する教材は、一つの内容項目を二時間連続で配置し、指導の重点化を図るよう配慮されている。 ・教材や特集ページ、別冊の「道徳ノート」を扱うことで、他教科、他教育活動との関連を図れるように配慮されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインにより、すべての児童が見分けやすい色合いとなっている。 ・2冊構成で、別冊を通じて、学校と家庭が連携して児童の道徳的成長を見守り励ましていくことができるよう、工夫されている。 						